

日本古代文字考

落合直澄著

生

和装本

ホ 2
4228
1



年八十正

心すう五歳四半八日二十七日より以て殿を御の
 言も善を候心と百言翁師普益世の書りも心ち
 疎疎射學合聞き以て其谷新内り斬ん又獲う
 日も以て伏坐き福岡銀中の官舎り坐む伏坐編
 實福と懸を掛へ諒式瓦竈求現中十一日十四
 を海前の人より世々福岡射り掛ん又谷へ味
 取伏坐朝へ蕪計牢へ千編懸へ益神又陸神と
 取福計伏坐小冊

小 眞 舎 鑑 取

四本加文又味取

節 白 樹 鑑 取

落合直澄著

日本古代文字考

小槧舎藏版



乃

Handwritten Japanese text in cursive style, enclosed in a rectangular border. The text is written vertically and includes various characters and symbols, some of which are highlighted with a red rectangular box.



ナ12 4228 (1)

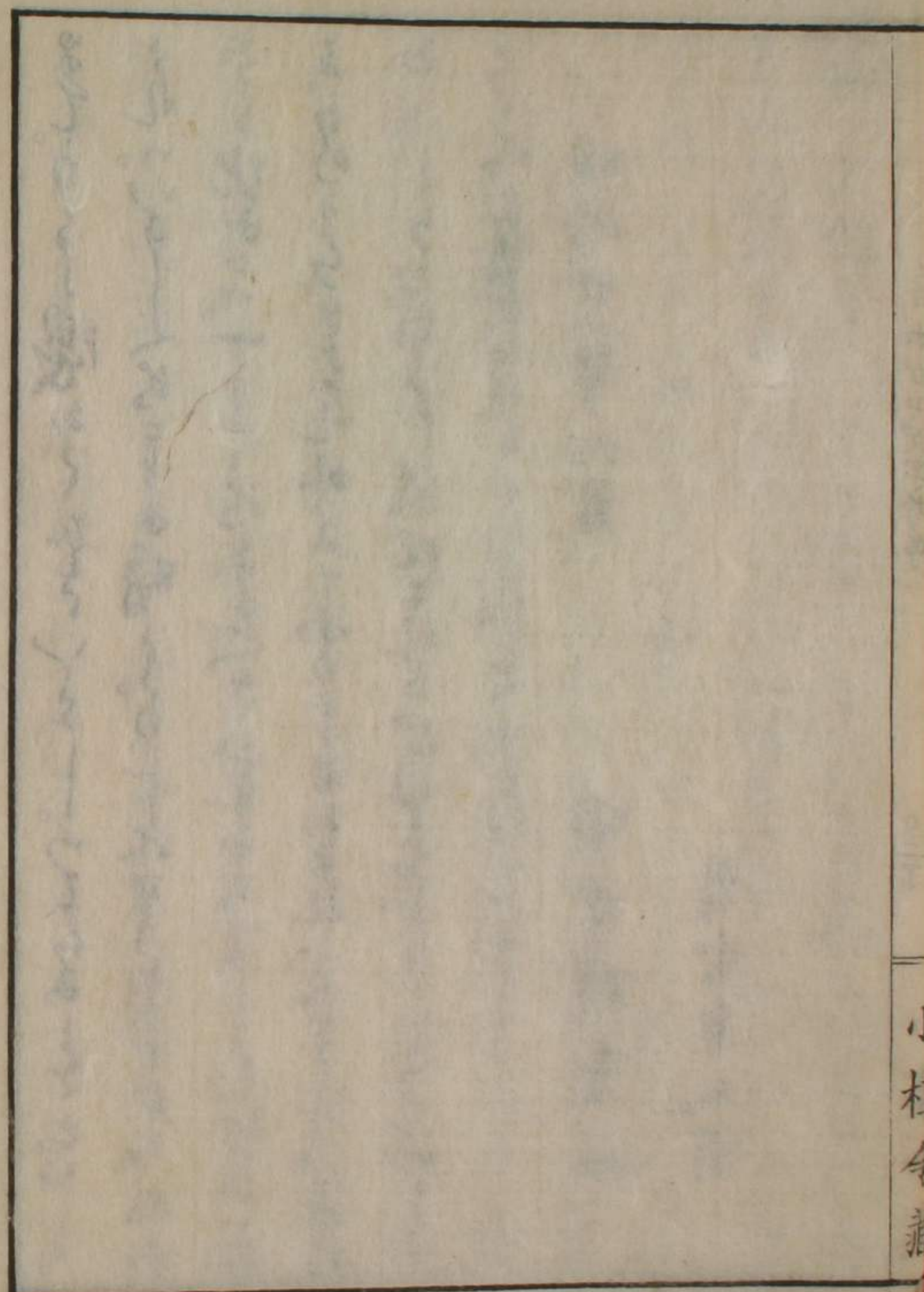
読つては御座り。此の如くは。一。二。三。四。五。六。七。八。九。十。十一。十二。十三。十四。十五。十六。十七。十八。十九。二十。二十一。二十二。二十三。二十四。二十五。二十六。二十七。二十八。二十九。三十。三十一。三十二。三十三。三十四。三十五。三十六。三十七。三十八。三十九。四十。四十一。四十二。四十三。四十四。四十五。四十六。四十七。四十八。四十九。五十。五十一。五十二。五十三。五十四。五十五。五十六。五十七。五十八。五十九。六十。六十一。六十二。六十三。六十四。六十五。六十六。六十七。六十八。六十九。七十。七十一。七十二。七十三。七十四。七十五。七十六。七十七。七十八。七十九。八十。八十一。八十二。八十三。八十四。八十五。八十六。八十七。八十八。八十九。九十。九十一。九十二。九十三。九十四。九十五。九十六。九十七。九十八。九十九。百。

一。二。三。四。五。六。七。八。九。十。十一。十二。十三。十四。十五。十六。十七。十八。十九。二十。二十一。二十二。二十三。二十四。二十五。二十六。二十七。二十八。二十九。三十。三十一。三十二。三十三。三十四。三十五。三十六。三十七。三十八。三十九。四十。四十一。四十二。四十三。四十四。四十五。四十六。四十七。四十八。四十九。五十。五十一。五十二。五十三。五十四。五十五。五十六。五十七。五十八。五十九。六十。六十一。六十二。六十三。六十四。六十五。六十六。六十七。六十八。六十九。七十。七十一。七十二。七十三。七十四。七十五。七十六。七十七。七十八。七十九。八十。八十一。八十二。八十三。八十四。八十五。八十六。八十七。八十八。八十九。九十。九十一。九十二。九十三。九十四。九十五。九十六。九十七。九十八。九十九。百。

明治廿一年六月

田中頼庸識

菅直文書



日本古代文字考

緒言

一古來古字ノ説多シト雖モ日文傳ノ上ニ出ルモノナシ。今
 日文傳ヲ根據トシ金石字等ヲ証トシ字源字父母ヨリ字
 子組織ノ理ニ至ルマデ我考ノ及ブ限リ心緒ヲ盡スト雖
 モ猶杜撰ノ罪ヲ免レザラムトス。庶幾ハ識者ノ訂正アラ
 ムトヲ。

一鶴峰氏ノ鍔木文字考ハ唯アナイチ字一体ヲ擧ゲテ之ガ
 解ヲ加ヘタルノミナレド字源ノ端緒ヲ開カレタルハ此
 書ヲ以テ始メトス。

一田中翁ノ神字考ハ古字ノ傳來及ビ古今ノ諸説ヲ網羅シ
 テ載ラレタリ。傳記諸説ヲ見ムトセバ此書ニ由ルベシ。

一 日文傳附録疑字篇ノ中ニ字源字母アリ。又他ニ徵証アリテ正体ト認ムルモノハ取り異様ニシテ其体不整ナルハ捨ツ。

一 字源ヨリ字父母成り字父母ヨリ字子ノ生リテ五十音圖ノ成レル理ニ於テハ諸体同一ナリ。唯對馬字齊部字ノミ字源アリテ字父母ナシ。又豐國字ハ象形字ナレバ此類ニアラズ。

一 此書ニ載スル所其体十二種ナリ。之ヲ約レバト兆字象形字ノ二種ニ止マル。

一 古字ニ何神ノ所傳何々等ノ奥書アルモノハ好事家ノ所為ト思ハル、モノ鮮カラザレバ一二ヲ載セテ其他ハ惣テ略ス。カクノ如キ奥書ニ頼ラムヨリハ寧ロ字ノ組織ヨ

リト兆ノ根元ヲ探ラバ字ノ成立セシ時代モ大凡想像セラルベシ。

一 字ノ遺存地及ビ傳者人名ヲ以テ字体ノ名稱トセルハ意アルニアラズ。唯便利ニ從フナリ。

一 英雄人ヲ欺クノ語アレド奸曲者英雄ヲ欺クモ鮮シトセズ。傳附録所載上宮太子璽尺弘仁登運記考ニ所載上野國宗永寺所藏銅鐸其物ハ有レレ古字体ナルモノヲ載セラレタルバ虚妄ナリ。是レ奸曲者平田翁ヲ欺キシモノナルベシ。豈恐レザルベケンヤ。

一 書中傳ト記セルハ日文傳ナリ。考ト記セルハ神字考ナリ。

明治二十一年五月一日

落合直澄識

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

日本古代文字考卷之上

落合直澄著

●第一章傳記諸説

凡ソ字ヲ作ル者天然ノ音韻ニ原カザルナキハ萬國同一
 轍ナルガ如シ。獨、漢土每事每物ニ字ヲ作り其數幾萬其体
 幾萬未ダ悉ク網羅セル字書ナシト。我邦亞細亞ノ東ニア
 リ漢土トノ關係最モ大ニシテ益ヲ得ル最モ多シトス。然
 レ氏我邦固有ノ簡易ナル文字ヲ捨テ歴史其他悉ク煩雜
 ナル漢字ヲ以テ之ヲ記シ人智ヲ退縮セシメシト亦僅少
 ナラズ。今其弊ヲ矯メントスルモ如何トモスル能ハザル
 ナリ。然シテ近來我邦人各國ノ學術ヲ研窮スル者頗ル多
 シト雖。我古字ノ如キニ至テハ措テ論ゼザル者ノ如シ。然

盲目帳

盲目曆字
浦漁人文

ルニ近時清國沈文煒ハ日本神字考ヲ著シ我邦ノ古字ヲ以テ悉ク漢土ノ古字ニ附會シ其解ヲ下セリ。英人チャンパレン匹モ亦我古字ヲ論ジテ終ニ上古文字ナシノ論ニ帰セリ。然レ凡時々諸國ヨリ異体ノ文字ノ出ル有テ世ノ學者半信半疑ノ念ヲ免レザルナリ。直澄案ズルニ上古文字ナシトスル説甚不當ナリトス。如何トナレバ陸奥ニ南部曆ト稱スル者アリ。異体ノ數字物体畫ヲ插入シテ無智ノ人民ニ月日ヲ知ラシム。世ニ之ヲ盲目曆ト云。芝浦漁人文字モ此類ノモノカ。安齋叢書ニ見エタリ。常陸久慈郡安寺持方村ハ深谷ノ間ニアリ。天命中僅ニ十戸ニシテ人民質朴世事ニ通ゼザル者ノ如シ。然レ凡方圓或ハ縦横線ノ數字有テ公租等ヲ誤ルナシト。世ニ之ヲ盲目帳ト云。太

古字

古ニ在テハト者最智識アル者ナラム。然リ。我上古ノ文字ヲ考フルニト兆字ハ自ラ深遠ノ理ヲ備ヘタレド象形字ニ至テハ兒戲ノミ。漢土ノ文字モ亦然リ。馬鹿ヲ見テハ其形ヲ畫キ日月ヲ見テハ其形ヲ記スニ過ギズ。後世ニ至テ漸ク文字ヲ貴重シ之ガ筆法ヲ説キ之ガ書体ヲ論ズルガ如キハ作者ノ意想外ニ出タルモノナルベシ。文字ヲ作ルハカクノ如ク易シ。イカニ人民蒙昧ナリト雖。上天子アリ。下萬民アリ。治世千歲豈文字ナキノ理アラムヤ。日本紀明注曰。帝王本紀多有古字ズキナ。撰集人屢經遷易。後世人習讀レ以意刊改傳寫既多遂致舛雜。此文ニ古字ト稱スルハ天武紀ノ新字ニ對シテ我古字タルヲ知ルベシ。

新字四十
四卷

考云。古字トハ我古字ヲ去フ。字ヲナト去物有レバ名アル
ハ天地ノ理ニシテ字ヲナト去モ物ノ名ヲ記ス器ナレバ
ナリ。ミナハ真字ト去ガ如シ。欽明天皇ハ、今明治二十
年ヲ去ル、九一千三百年、
日本紀天武帝十
一年三月曰。命境部連石積等。更肇俾造新字一部四十
四卷。

字体似梵
字

私記曰。師說此書今在圖書寮。但其字跡頗似梵字。未詳其字義
所准據。

此新字ヲ松崎神等ノ如キ漢字体ノモノナラムト去説ア
レド然ラズ。私記ニ似梵字トアレバ日文体ノ字ナルヲ知
ルベシ。

古來神字ノ真体ヲ以テ史ヲ編纂セシト雖モ。字体混雜シ
易ク遂致舛雜ト。欽明紀ニアルガ如クナレバ。此時真字ヲ

和ゲテ草体ヲ作。玉ヒシナルベシ。是新字ナリ。

此新字ヲ以テ史ヲ記シタルガ一部四十四卷トハナレル
ナルベシ。此前年ニ川嶋子等十二人ニ詔シテ令記定帝紀

及上古諸事。大嶋子首執筆録焉。トアルハ漢文ヲ以テ史ヲ
編纂セシメラレタルガ。帝ノ御心ニ叶ハザルガ故ニ又新

大字ヲ作りテ我古言ノマ、ニ記サレタルナルベシ。

此新字史四十四卷未ダ成功ナラザル所ナドモアリ。文章
ヲモ猶能調ヘムトシテ稗田阿礼ニ口傳シ玉フ程ニ。帝崩

御トナリシカバ元明帝ノ世ニ至テ、太安麻呂之ヲ主
トシテ、編纂シタルガ古事記ナリ、四十
四卷ノ新字ハ。空ク圖書寮ノ寶物トナリテ多年ヲ經過シ。
弘仁承平ノ頃ハ其世ノ學者モ讀ミ得ルモノモナキニ至
リキ。

如此我古字ハ既ク廢レタレニ。神社仏閣ニハ僅々存スルヲ得タリ。

日本紀弘仁初度私記云。飛鳥岡本宮朝皇極。皇太子大好漢風而訖難波長柄宮朝孝德。後岡本宮朝齊明。近江大津宮朝天智。

以漢字漫
翻譯之

四代之間。文人學士各競而帝紀國記及諸家記。氏々系譜等以漢字漫翻譯之。加私意誣人。殆欲絕先代舊辭本意。於是淨見原天皇天武。愁滅其正實。更敕語舊辭而欲傳于後葉矣。雖然譯文橫流史面全不能觸之。弘仁ハ、今明治二十年ヲ去ル七十餘年、

考云。以漢字翻譯之。ト有ルニ目ヲ注グベシ。帝紀已下ノ記錄ノ神世ナガラノ國字ニ書セル物ヲ文學士等ガ漢字ニ翻譯シタルヲ云ナリ。

日本紀承平私記曰。問假名之起當在何世哉。答。神功皇后以前

肥人之字
六七枚

肥人書薩
人書

和字

文書不傳。已無所見。至于應神天皇御宇遣使新羅招來文人。僅習文字。然則自彼御時可有之。承平ハ、今明治二十年ヲ去ル九百五十餘年、

又問假名字誰人所作哉。板本釋肥ニ此文ナシ、宮崎文庫本并ニ零本私記ニヨル、答。師說。大藏省御書中有肥人之字六七枚。許先帝於御書所令寫給其

字皆用假名。或其字未明。或乃以等字明見之。若以彼可為始歟。傳云。乃以ハ漢字ノ乃川ニアラズ。肥人書ニ乃以等ニ書ケ

ル字アリテ漢字ノ乃川ニ似タルナリ。本朝書籍目錄ニ。肥人書五卷薩人書トアリ。古字ヲ以テ五卷ニ書ケルモ

ノアリシナルベシ。和訓栞一ニ。松下氏云。今西國人文字ノ異体ヲ謂テ肥後字ヲ書クト云ヘレバ弘法ヨリ以前ニ假

字ノ字体ハアリシニヤ。先師說云。漢字傳來我朝者應神天皇御宇也。於和字者其起可

在神代歟。龜ト之術者起自神代。古々無文字者。豈可成ト哉。古和字ハ龜トノ兆象ヨリ出タリ。故此語アリ。

三代實錄貞觀十三年四月ノ記ニ。忍見足尼命始自神代。供龜ト事。トアレバ。欽明天皇紀ニ。易博士。曆博士ノ交代及ビト書曆本等ヲ送上セシムルヲ百濟ニ勅シタルハ。周易

等ノ書ニシテ龜トノ書ニ非ルヤ明ラケシ。今案。假字本世有二部。其一部者和漢之字相雜用之。其一部者專用假名倭言之類。古々

此處ニ假名本ト云ヘルハ。假名日本紀ナリ。假字日本紀ニ二部アリテ。一部ハ和字ト漢字トヲ雜ヘテ書ケルモノニテ。今世片假名文ト云フ如キ書体ノモノナルベシ。又一部ハ漢字假字ヲ書ケルモノニテ。即チ釋日本紀ニ引用セル

和漢字

假名日本紀ナルベシ。今世傳ハル所ノ平假名交リナル。假名日本紀ハ近世ノモノナリ。神代卷口決。神代文字象形也。應神天皇御宇。異域書始來朝。至推古天皇朝。聖德太子以漢字附日本字。後百有餘歲而成此書焉。神代卷口決ハ。貞治年中忌部正通ノ記ス所ナリ。

神代文字象形也

神代文字象形也。トハ。歴史綱鑑補古。書制有六。一曰象形。註曰。象形謂日月之類。象日月形體而為之也。トアルガ如シ。我古字ニモト兆字。象形字アリ。

吉田兼俱云。アイウエオノ五十字ハ神代ヨリアリ。神代ノ字ハハカセノ根ナリ。家ノ秘書ニシテ出サズ。一万五千三百六十字アリ。一向ニ解シ難シ。ハカセト云ガ神代ノ字ナリ。古々

龜ヲ焦ス時ニ五ニ割テ五行ニ配ス。變ニ依テ五万三千トナル。兼俱ハ文明年中ノ人ナリ。○龜ヲ焦ス時古々五万三千トナルト云ハ。兼俱ノ説ナレバ。別除スベシ。

古字一万五千餘

船橋環翠曰神代ノ文字ハ一万五千三百七十九字アリト云
聲明ノハカセヲ附タル如クナル字ナリ。龜トヲスレバ其拆

ヤウガ文字ノ体ナリト云吉田ノ秘事ナリ。環翠ハ天文頃ノ
出テ船橋家ヲ繼グ○按ニ異体字一万餘アリト云ニ非ズ日
文字ヲ以テ記セルガ惣計一万餘アリトノ意ナルベシ。

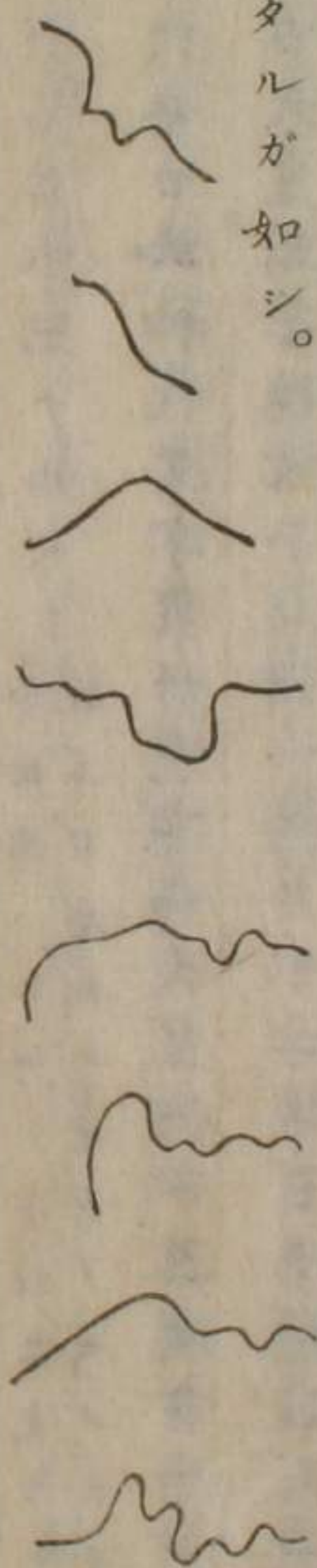
吉田家ニハ古字ヲ以テ一万五千有餘記載セシ書ヲ藏セ
シト見エタリ。前二條ハ神代卷抄ニ載スル所ナリ。

傳云ト部家ノ舊説ニ神代字ハ節ハカセヲ指タル様ナリ。

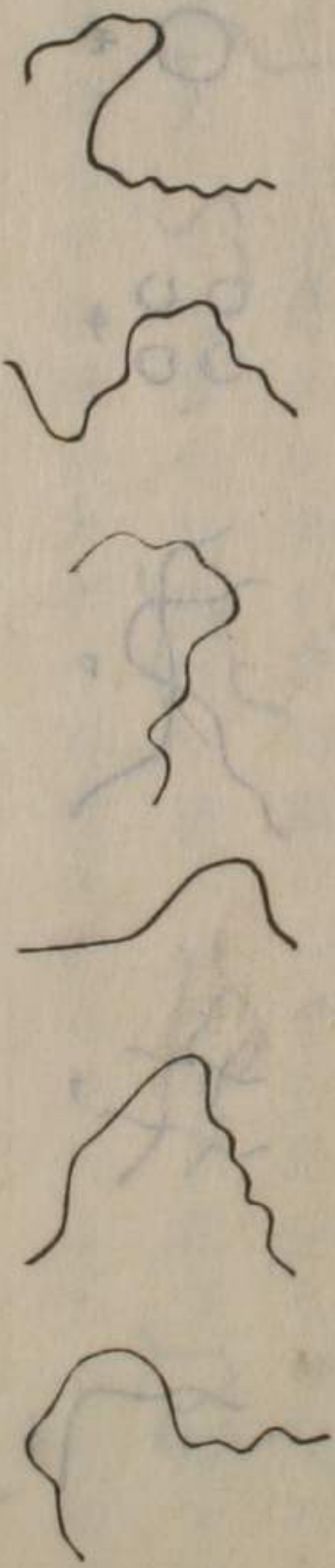
ト云ヘルニヨク符ヘル書体アリ。樂家録ニ節墨譜ト書テ

神樂催馬樂ナドノ古本ニ指セル節ハカセノ狀左ニ擧ゲ

タルガ如シ。



節ハカセ



大抵カクノ如クナレバ合セ見テト部家舊説ニ神世文字
ハ節博士ヲ指シタル如シ。ト言ヘル意ヲ辨フベシ。
考云。體源抄ノ聲明モ平田氏ノ圖ト似タリ。

念 應
一 彼 時
觀 得
音 隋
力 散

。日本古代文字考上卷

六

真

譜 字体似節

○ 節墨譜体、古字、此字ハ神國神字ハ經論忍ガ安永年中ニ上木セル
 家ノ舊説ナリト神代字ハ此字ナリト
 タル様ナリト
 指ル所ナリト傳ニト部

新井君美
説

新井君美云。本朝ノ文字一万計モ有ト云ハ龜トヨリ始レリ。先墨ヲ以テカク文字一ツ有テソレヨリ龜兆ノ拆タルヤウニテ文字トス。今モ吉田家ニハアリ。但盡クハ訓ナキ

カ
ハ
シ
ス
ア
セ
ユ
ホ

日文讀法

カ。大方訓知レザルアリ。字体ハ古木ノ枝ノ如シ。是龜兆ノ開キ分レタル形ナレバナリ。肥人書薩人書尾張ノ字ナド是ハ國々ノ文字通用シ難シ。今吉田家ニアル文字ハ朝家ト全文ナリシカド。漢字ヲ用キシヨリ以來龜トナラデハハザルコト故ニ世人知ズ。文字ナクハ開闢ヨリ應神マデ幾千年ノ中何ヲ以テ事ヲ記サムヤ。新井君美白石ト号。舊事大成經ニ。小野妹子ヲ河内國平岡宮へ遣シ。秦河勝ヲ泡洲泡輪宮へ遣シ。神字ヲ取出シタル由ヲ記シタレド。神字ヲバ載セズシテ禁音味譽彙勢奈夜古堵茂知爐羅年紫紀流庚圍厨宍努蘇汗哆坡駒馬嘉有於依爾掌利汨轉能摩數亞世會鋪列氣ノ文ヲ載セタリ。潮音ハ天和年間ノ僧ニテ肥前ノ人ナリ。初メ美濃國黑瀧

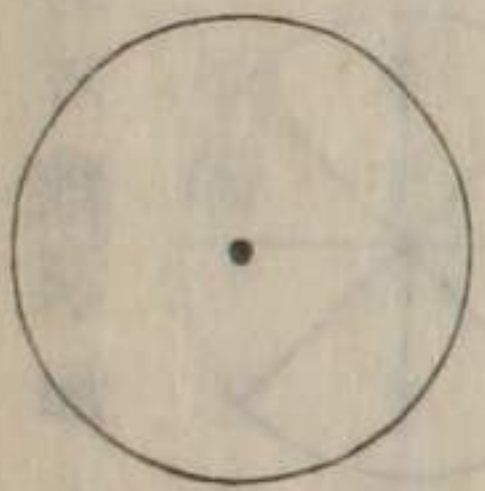
山ニ住シ。後上野園館林廣濟寺ニ住ス。伊勢カタ田ノ神主
永野采女等ト謀テ。舊事大成經ヲ偽造シ出板ス。其偽作タ
ルヲ顯レテ采女ハ遠嶋セラレ。潮音モ遠嶋セラルベキノ
處。桂昌院ノ皈依僧タルヲ以テ隱居申付ラル。桂昌院ハ徳
川三代將軍
家光公ノ妾ニシテ、名ハ秋野、出版書肆豐嶋屋豐ハ八追放
四代將軍家綱公ノ母ナリ、セラレタリ。潮音ハ如此邪僧ナレ。博覽多識ナル者ニテ
廣ク古書ヲ探索シタル者ト見エタリ。小野妹子ヲ平岡宮
ヘ遣シ。秦河勝ヲ泡宮ヘ遣シテ神字ヲ取出タリト云ハ。己
ガ平岡神社阿波神社等ヨリ神字ヲ取出シタル事實ヲ。小
野妹子秦河勝ノ事跡ニ偽造シタルモノナルベシ。然レ。凡
漢字ヲ以テ日文ノ讀法ヲ傳ヘタル書ヲ採出シ、ハ。潮音
ヲ以テ率先者ト云ハザルヲ得ズ。和漢三才圖ニ。或書曰。ト

テ同文ヲ載セタリ。圖會上木ハ舊事大成經ニ後ル、コト
三十年バカリナリ。或書ト云ハ何レノ書ニヤ詳ナラネド。
大成經ヲサセルニハ非ルベシ。圖會作者寺嶋良安イカデ
大成經ノ偽書ナルヲ知ラザランヤ。且、潮音哥セラレ大成
經減板ノコトハ寺嶋氏壯年ノ時ナルヲヤ。

第二章字源

我國ノ古字ハ象形文字ヲ除クノ外悉クト兆ノ圖ヨリ出タ
リ。ト兆ノ源ハ圓象中點ヨリ起レリ。今之ヲ圓象中點圖ト名
ク。

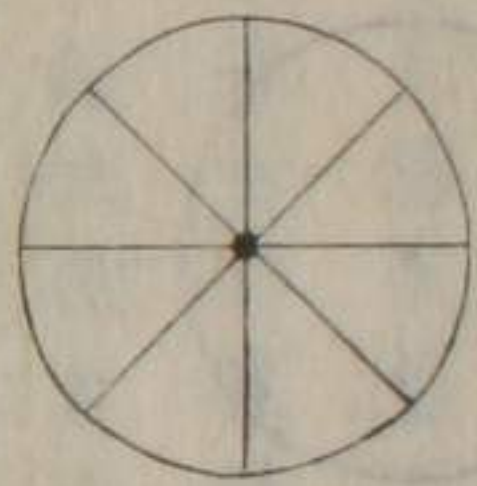
圓象中點



此圖ニ縱横斜ノ線ヲ加ヘテ今之ヲ圓象八線圖ト名ク。

圓象八線

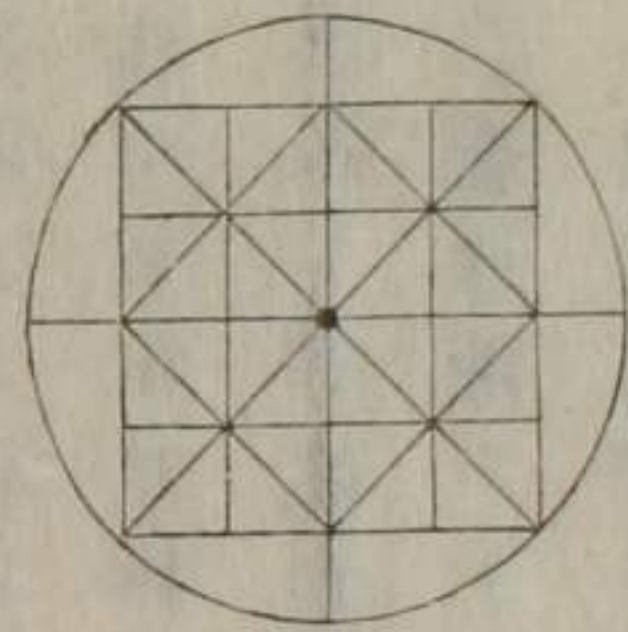
圓象八線



此圖ニ又方形縱横斜ノ線ヲ加ヘト兆圖トナス。今之ヲ真正兆圖ト名ク。

真正兆圖

真正兆圖



ト傳ニ。ト兆ノ圖ヲトニ作ルハ略圖ニシテ。ト者真正兆圖ヲ心ニ藏ルニ非レバトヲナス能ハザルベシ。

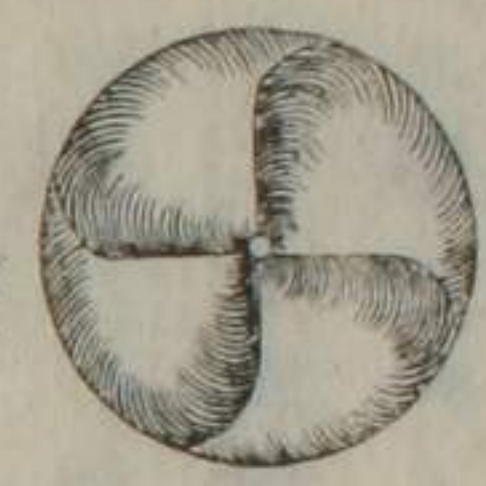
兆圖ヲサスカリト云。龜甲鹿骨ニ火ヲサスト云。語アルヨリ起レルナルベシ。和名抄ニ。天一神ナカカミ奈加ナカトアリ。ナカハ中央ノ

サスカリノ名義

義ニシテ天真中主神ヨリ出タル訓ナルベシ。即ト兆ノ中點ニ象ル。和訓栞ニ。天一神サスカリトアリ。中點ヨリ外方ヘサス義ニ象ル。六方ヘサスヲムサシト云ヒ。八方ヘサスヲヤサスト云。又佐須ハタツト通ス。下ヨリ上ヘ指スヲ立ト云。縦ノ語ハ立ヨリ出タリ。八雲立ヲヤツメサス。立竹ヲサスタケト云ヘリ。又縱横線ニ斜線ヲ加ヘテサスカリト云フ。其狀駭ノ如ク禱ノ如シ。リヨリ出タル語ナラム。カリハキリノ義ニテ一節二節ヲヒトキリフタキリト云。限字ヲキリカギリト訓ムモ堺ヲナス義ナリ。切ハ限ノ活語ナリ。草ニハカリカルト云ヒ。木ニハコリコルト云フ横線ハ縦線ヲ斷テ段ヲナシサスカリノ圖ナル。鎗ニサスマタアリ。鏃ニカリマタアリ。其狀カクノ如シ。據アルナリ。萬葉集ニ武藏野ニトヘ象燒

兆形回毛

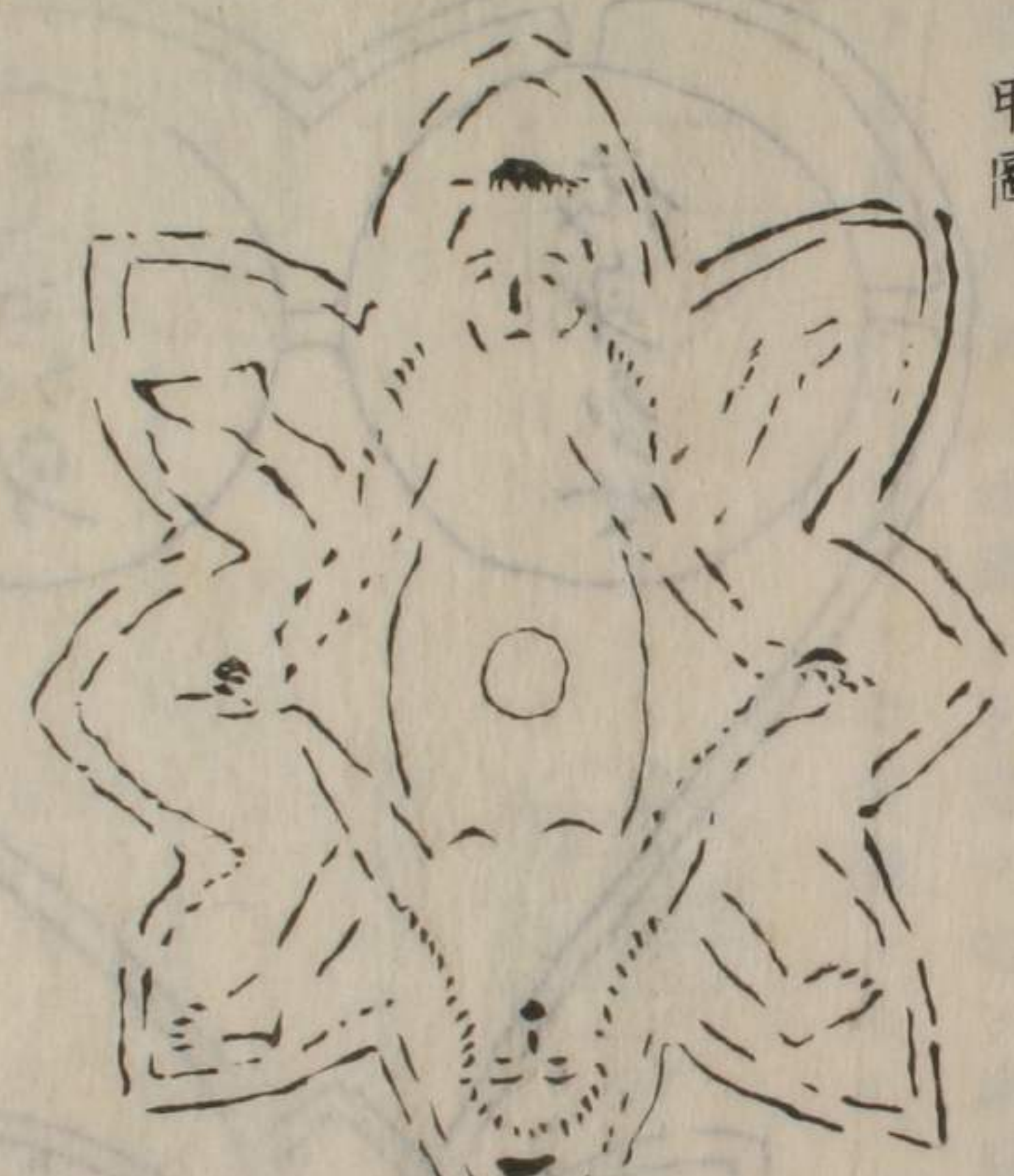
ノ歌アリ。ムサシハト兆ノ縁語ナルヲ以テトニ冠セシナラ
 ム。サスカリハ兆圖ナリ。マチガタノ語ハト書ニ見エタレド
 姓氏録ニ。允恭天皇ノ世ニ額ニ町形廻毛アル馬ヲ獻リテ。額
 田ノ姓ヲ賜リシヲアリ。又天皇勅曰。此馬額如田町。ト兆圖ハ
 田字形ヨリ起レルモノナルヲ知ルベシ。此圖萬事ノ法トナ
 町形回毛カ
 ル。先ヅ形ヲ作ルヲヒナガタ
 クノ如クナ
 ト古ヒ。体ノ法ニ叶ヘルラス
 ルベシ。
 ガタカタチト古ヒ。字書ニ古
 以土曰型。以木曰模。以竹曰范。范法也。式也。ト有ルガ如シト方
 モ亦此圖ヲ以テ法トス。サスカリ兆形ノ起原ノ理ヲ知ラム
 トセバ。左ノ圖ヲ熟覽スベシ。



○ト兆器 下野宇都宮ニ
 荒神社藏。銅製

兆形起源

甲圖



此圖手足交テXXXX形ヲナス。之ニ縱横線ヲ加フレバ
 圖トナル。

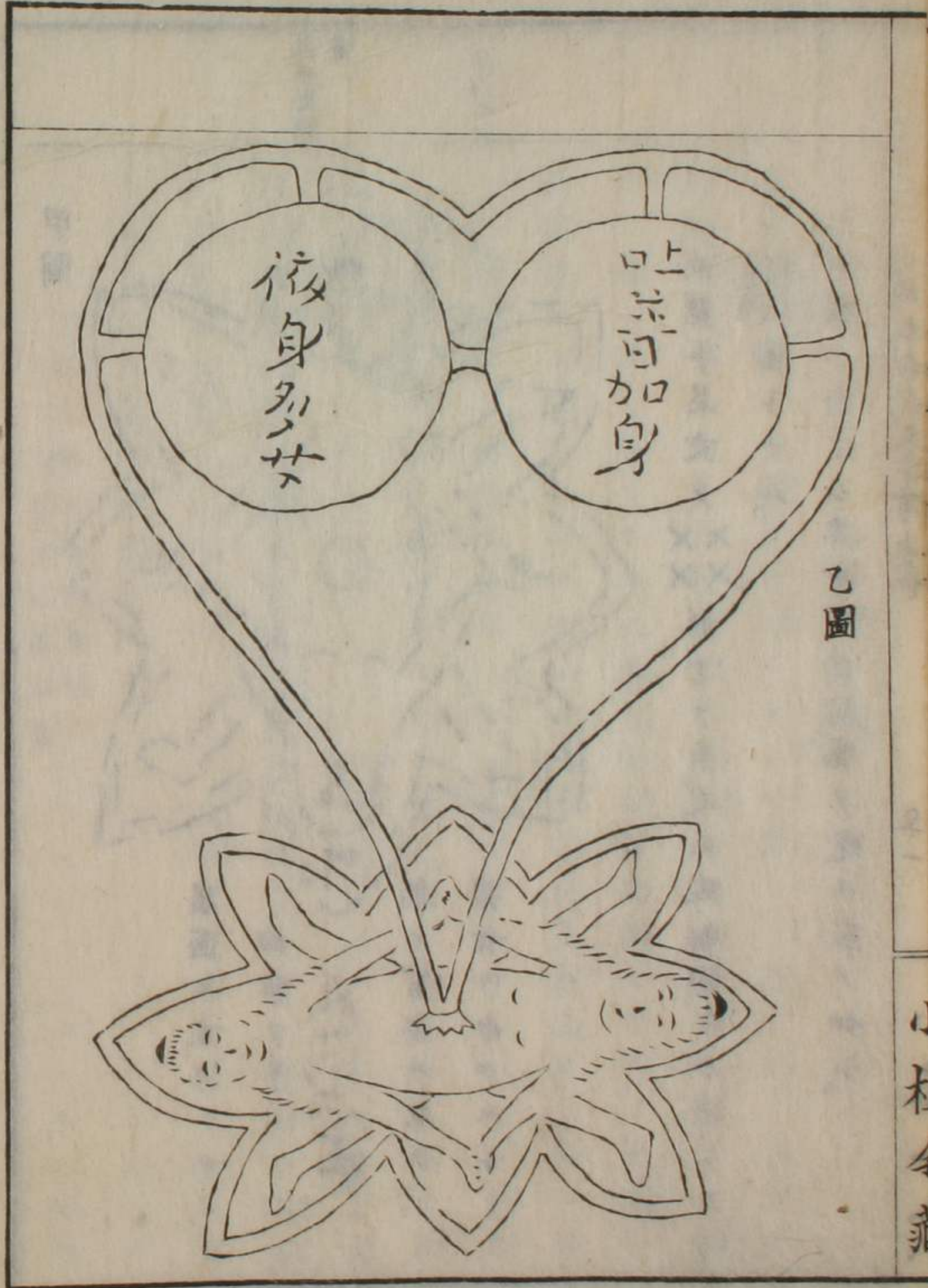
甲圖ヲ臺トシ其中ニ兆詞器ヲ建ル左ノ如シ。

裏面ニ左ノ
 四字アリ
 六(三)三(三)
 乳ノ有無ヲ以テ
 男女ヲ分ツベシ

○日本古代文字考上卷

三一

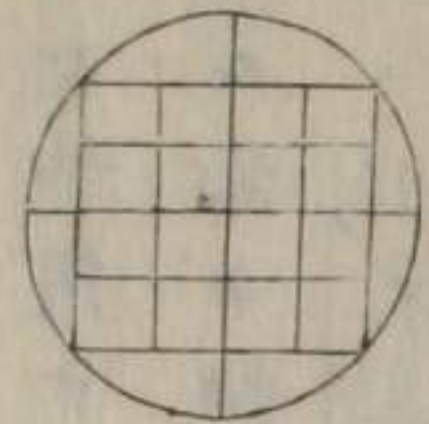
真言藏



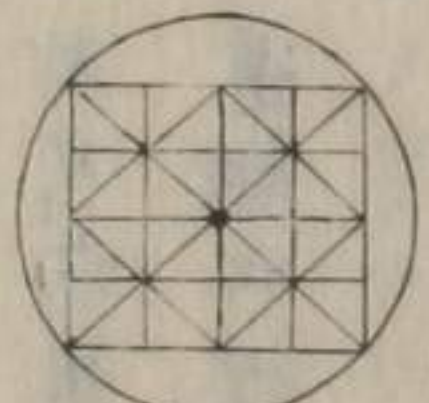
乙圖

古字ハ此真正兆圖ニテ悉ク之ヲ網羅セリ。然シテ字源ヲ分
テ七圖トナス。今之ヲ七字源ト名ク。

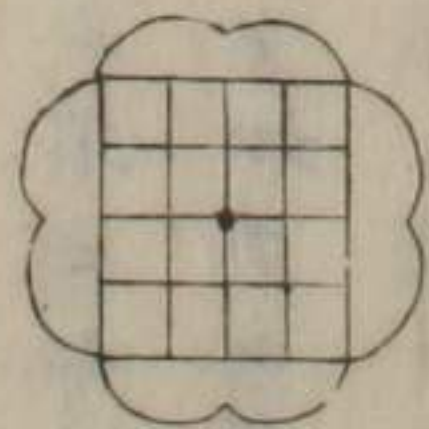
七字源



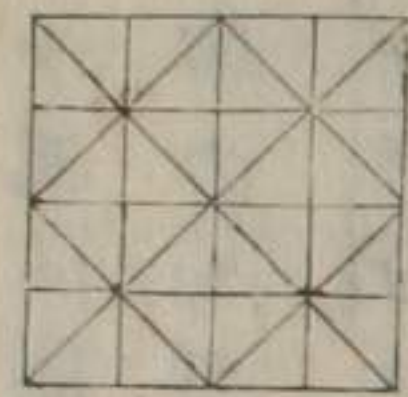
ツクシモシ



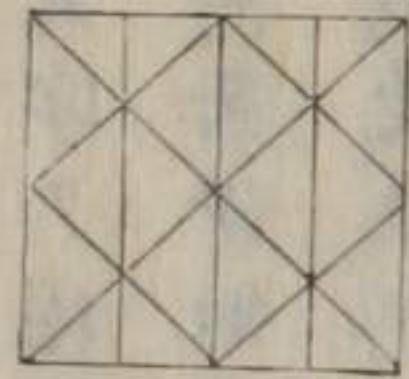
アヒルモシ
イヨモシ
アイノモシ



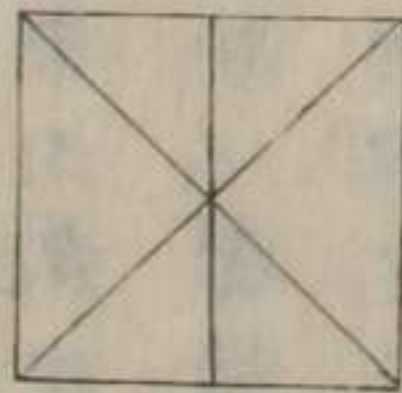
コレタリ
モシ



イムベモシ



タネコモシ
モリツネモシ



ムサシモシ

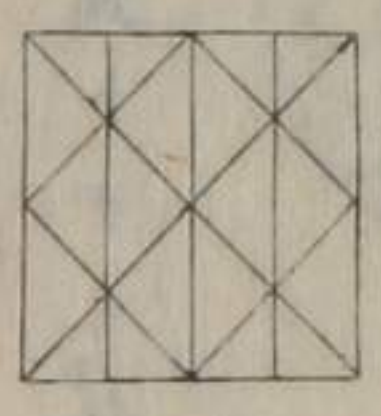


ツシマ
モシ

古字其体多種ナリト雖。此七字原ニ出ザルナキハ追章ニ述
ル所ヲ見テ知ルベシ。

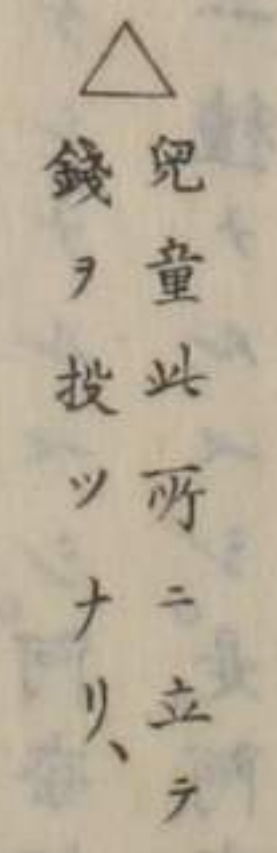
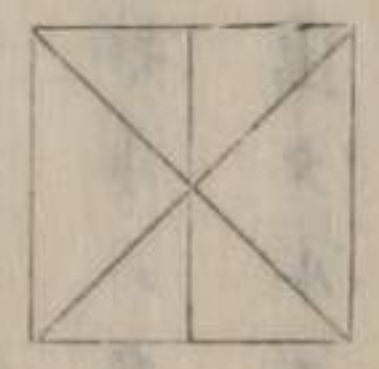
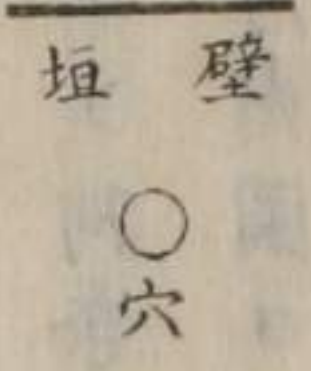
●第三章六行成字
△ヤシモシ

阿奈伊知字今改テ六行成字ト名ク。阿奈伊知字ハ傳附録鏗
 木神字考等ニ載ヤタリ。此字阿波國阿波神社ニモ傳ヘタリ。
 ト見エタルガ和訓栞ニ河内國枚岡神社。大和國忌部神社等
 ニテ瓦ニ彫リシ文字ヲ堀出シ、由テ載セタリ。是此アナイ
 チ字ナルベシ。○阿奈伊知ハ和名抄ニ意錢和名世トアリ。今
 アナイチト云。兒戲是也。アナイチハ穴打ノ義ナリ。和漢三才
 圖會意錢ノ條ニ。近世有鍋嶋閉保六道等數品トアリ。鍋嶋閉
 保ハ如何ナル法ニヤ知ラズ。六道ハ八道行成ニ準ヒ六道ヲ
 走ル法ト知ラレタリ。六道即六行成ハ左ノ圖ノ如ナルベシ

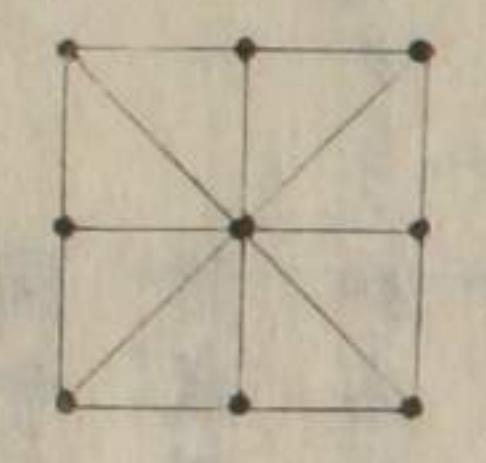


宇陀氏去。大和ニテハアナイチノ法左ノ如シ。

六行成圖



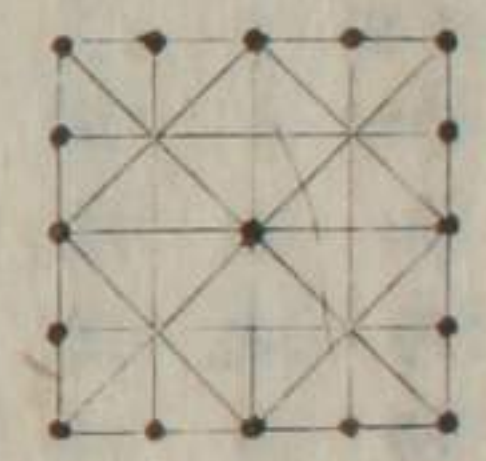
圖ノ如ク壁垣ノ前ニ穴ヲ穿チ。穴ノ前ニ六行成ノ圖ヲ畫キ。
 錢ノ穴ニ入ルヲ大勝トシ。錢ノ壁垣ニ觸レテ及テ穴前ノ圖
 ニ落ツレバ線ノ所々ニ由テ勝敗アリト云。○三才圖會ニ云。
 一種六行成ナルモノアリ。碁子黑白各三ツ九舍ヲ走ル。
 九舍ハ如此ナレバ六行成ニ如此圖モアリト見
 エタリ。同士三ツ相連ルヲ勝トス。碁子黑白合セ
 テ六ナレハ之ヲモ六行成ト云フナルベシ。
 八道行成品文ニ出ヅ。和名抄ニ。八道行成夜佐須トアリ。夜佐
 須ハ八道ヲ指ス義ナリ。俗ニ將碁ヲサスト云フサスニ同ジ。
 今俗ニ十六ムサシト云。三才圖會ニ云。十六士卒一力士ヲ



カリ樗蒲
ノ名トナ
ル

中ニ圍テ之ヲ攻ム。カ士八道ヲ行テニ卒ヲ左右ニ扱テ之ヲ屠ル士卒相聯テカ士ヲ逐フ。カ士行道ヲ失テ斃ル。賀利ハ樗

和漢三才
圖會八道
行成圖



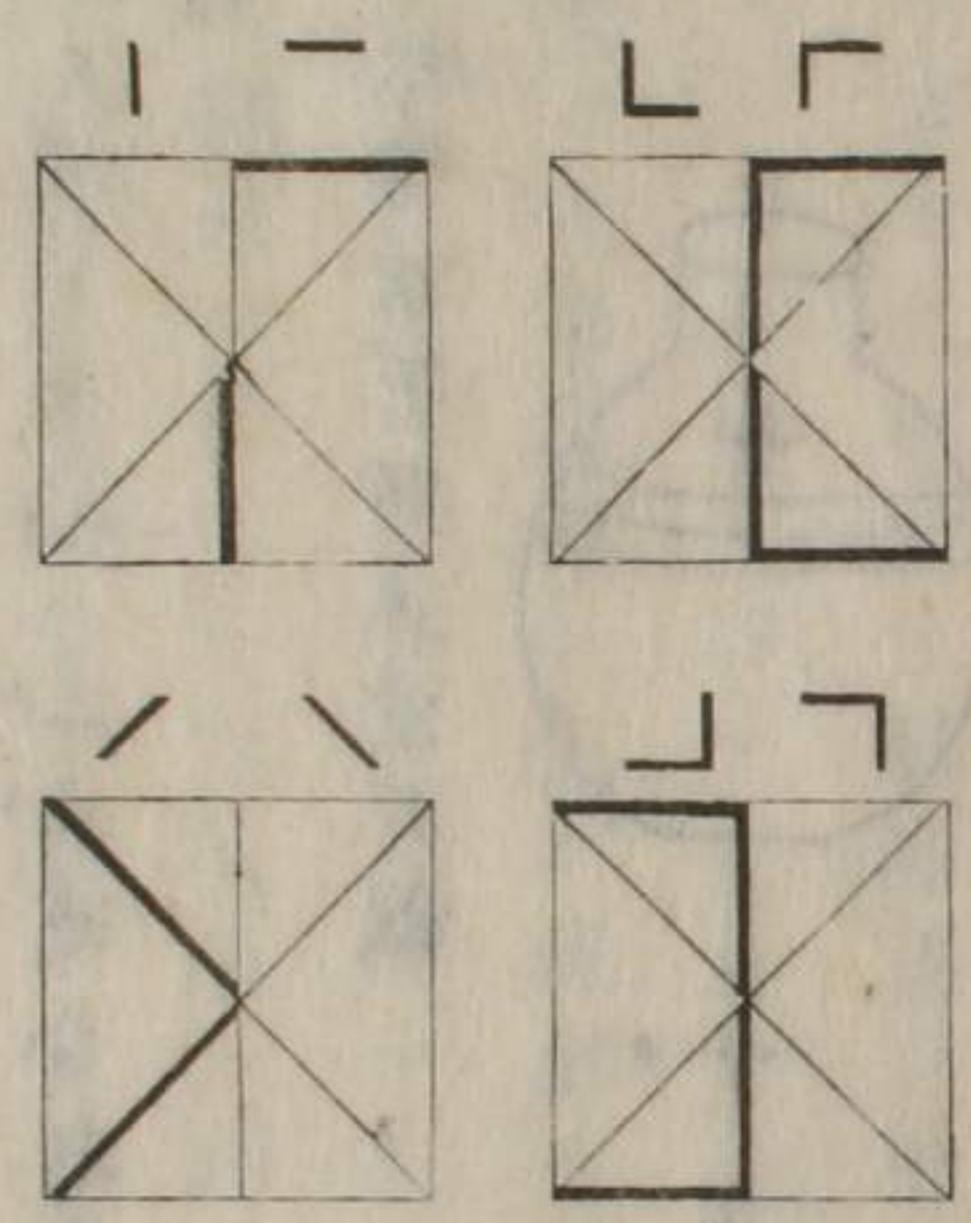
和名賀利字知

蒲ナリ。和名抄ニ樗蒲。俗ニチヨボイチト古ヘリ。以上論ズル所ヲ以テ夜佐須牟佐志ハ其源同物ニシテ阿奈伊知圖ハ六行成ヨリ出タルヲ知ルベシ。然シテ此戲ハ印度ニ始リ。千年以前我邦ニ傳ハリシモノナルガ。我龜トノ兆象ニ符合セルモノニシテ。和字ノ字源モ此圖ニ外ナラズ。故ニ我古字ヲ阿奈伊知トハ名ツケシナルベシ。阿奈伊知字數体アリ。河内國ヨリ出タルモ其一種ナルベシ。是阿奈伊知

六行成字
字源及組
織

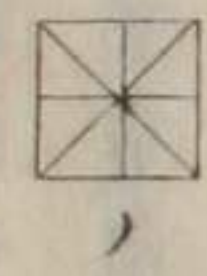
字ヲ六行成字ト名ヅケシ所以ナリ。

○字源及五十音圖



中點

鶴峰戊申ノ鏤木文字考
ニアナイチ字ハ
圖ヨリ出タリト。



上	左	右	右	左	中	ト	中	下	父
一	レ	ハ	マ	ハ	フ	タ	サ	マ	ア
レ	ク	レ	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	ヒ	レ
ク	ク	ク	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク

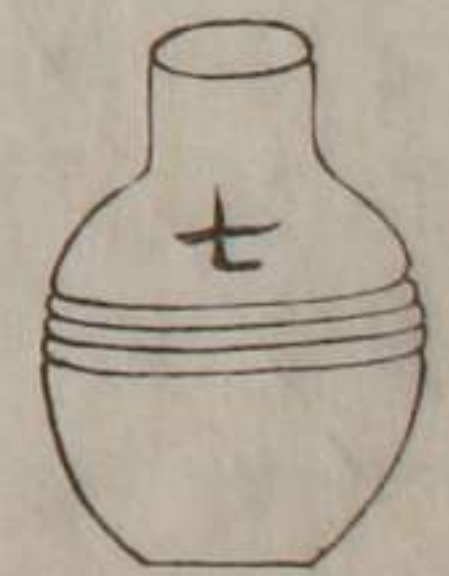
。日本古代文字考上卷

○日光二荒山神社所藏明治十年
○下野河内郡鶴田村

下野土器
字



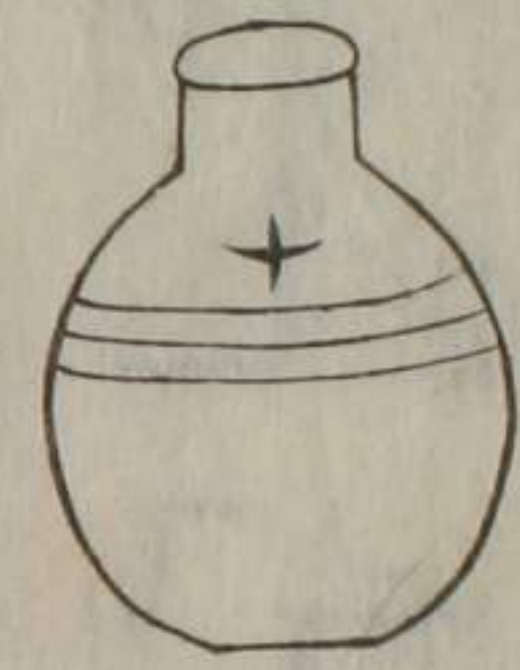
柿沼廣身吉
田利平等山
頂ニ於テ見



小松
惣次
所藏

出ス所ニテ七ハム上ラ連合字ナ
リ。

○小松惣次所贈直澄所藏



十字

七十等漢土ノ數字ノ如クナレド然ラズ。二荒山瓮字。駿河地方祝部土器ノ字ヲ以テ徵スベシ。是等ノ字ハ皆六行成字也。

○駿河地方祝部土器圖說 東京人類學會 報告第十七号

山中笑氏記ノ略曰。静岡近在ノ地ニハ朝鮮土器。即裏面ニ渦形アルモノ祝部土器。即渦形無キ土器ノ破片ハ澤山ニ見出サル。ガ。朝鮮土器ノ全形ノモノヲ掘出シタルハ誠ニ稀ニテ。是ハ元來製造ノ數ガ祝部土器ヨリ少キ故ト考ヘラル。夫耳ナラズ。朝鮮土器ハ大形ノモノ多ケレバ。掘出ス時意ナキ者ノ鋏先ニ當リヤスク。又ハ地中ニテ大石ニ壓レテ破レタルニ因ルト考ヘラル。祝部土器ノ中ニテ。最數多ク掘出ルハ一圓ノ形ニテ。大サ蓋トモ高サ二寸程。徑三寸餘ノモノナリ。同様ナル大サニテ二圖ノ如キ蓋ニ鈕ノ付タルハ少ナシ。三圖ノ如キ高サ二寸。徑五寸餘ノモノモ多シ。

駿河地方
土器字

一圖ヨリ六圖マデノ土器ノ中ニ。一種密印トモ云ベキ印ノ
蓋ニモ底ニモアルモアリ。松葉形井字形十字形ナドニテ我
見シハ七圖ニ示ス。五ツノ印痕ニテ陶工ノ印カ。密ニ入ル、
時焼ノ出来ヌ為カ。サテハ同形ノモノニテ。シルシナキモノ
アレバ飾カ。飾ナレバ見ユル所ニ付クベキニ。底裏ニ在ルハ
何ノ為カ。上



小槌舎藏

密印

直澄案ニ。是レ我古字ニシテ六行成字齋部字等ニ由テ十米
井^イ米^ホへト訓ムベシ。伊羅保ハ土器ノ名ナリ。古イラホ朝鮮イ
ラホ黄イラホ御本イラホ南蠻イラホ玄悦イラホ等アリ。委
クハ別ニ云ベシ。

梅軒陶器考等ニ由テ考フルニ

密印ニ種々ノ字アリ。備前尹部薄作ニ丁。備前ノカヤ壺ニ
X。同茶入ニ丁三。諸焼モノニ七ノ字等アリ。伊賀形耳付建
水密印ニ十。印度陶器筒水サシノ上ノ方ニホソキ筋アリ。
胴ニ^ハ五ノ押ガタアルアリ。蓋金氣藥肩衝^ハ七^ハ胴ニ圖ノ如
ク^ハ篋目アリ。如此陶器ノ字ハ我邦古來ノ法則ニ由レルガ
如シ。印度陶器トアルハ猶朝鮮器ニハアラザルカ。五ハ諺
文ナルベシ。陶器ヲ見サレバ判ジガタシ。呂宋陶器ニ密印

ナシ。密印アルハ我邦人呂宋ニ入テ陶器ヲ作りシマレ
 バ。我邦人ノ作ナルベシト云。後世我陶工ノ密印ニ異体ノ
 字ヲ用ルハ。古來ノ慣習法ニ由ルモノカ。京焼ノ中ニ有來
 新兵衛密印ニ了。て三。備前密印ニ由ルモノ、如シ中田川光存ハ
 是レ古字ヨリ出タルコト明ケシ。然レ此世ノ人故事ヲ
 明ニシテ如此印ヲ用キシモノニ非ズ。唯習慣法ニ由ルモ
 ノナルベシ。後世家々ノ定紋ノ如キ。角力者俳優者ノ代々
 類似ノ名ヲ付ルガ如キ。酒商ノ杉丸ノ招牌ノ如キ。其理由
 ヲ知テ之ヲ行フ者ハ鮮シ。唯習慣ニ由ル者ナルガ如シ。
 備前尹部ハ齋部氏ニ由アルカ。陶器字ハ多ク齋部字ヲ用
 尤。崇神紀ニ忌免ト書キテイムベイハヒベ兩訓アリ。イハ

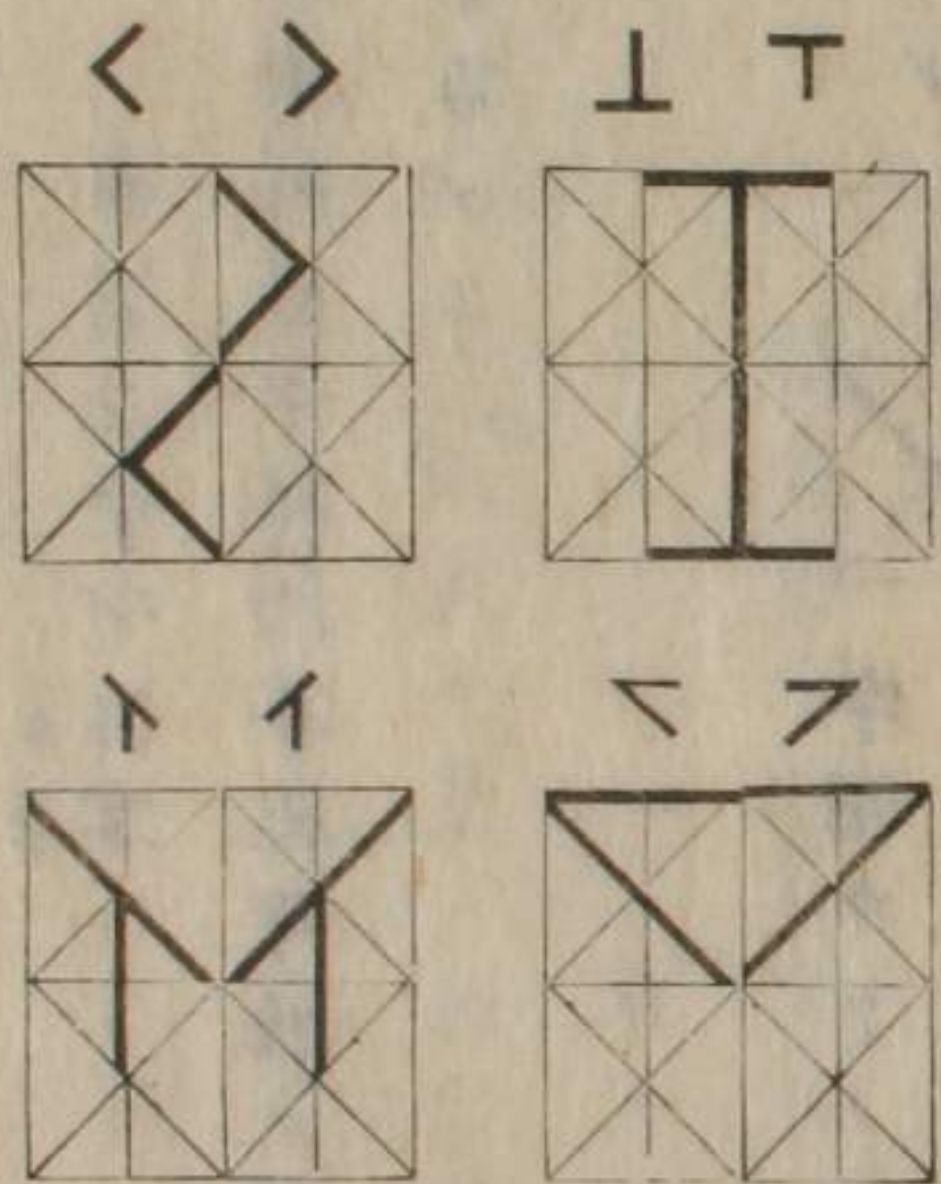
種子字源及組織

ヒハイマヒノ轉語ニテ猶イムト同語ナリ。

第四章種子字

此字ハ傳附録ニ天種子命神代文字トノミアリト云。

○字源及五十音



ト	イ	<	>	∨	∟	∟	∟	∟
ト	イ	<	>	∨	∟	∟	∟	∟
ト	イ	<	>	∨	∟	∟	∟	∟
ト	イ	<	>	∨	∟	∟	∟	∟
ト	イ	<	>	∨	∟	∟	∟	∟

○草体守恆字

圖書寮字頗ル梵字ニ似
タリトアルニ能ク合ヘ
リ。天武天皇ノ新字恐ク
ハ此字ナラムモ量難シ。

ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ

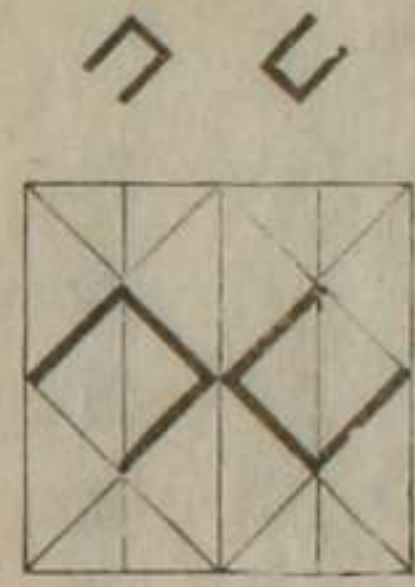
ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ

守恆字
源及組織

字ト名ヅク

此字傳附録中村松亭紀守恆ノ傳フル所ナリト由テ守恆

唯終行正則ニ違ヘリ
●第五章守恆字



字源カクノ如シ。
此佗ハ前二章ニ
準ヘテ解スベシ。

ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ

此行ヲモ
字母トス

×
十
入
人
||

●第六章阿比留字

日文四十七言

日文

シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
ヒ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
ミ	ミ	ミ	ミ	ミ	ミ	ミ	ミ	ミ	ミ
ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ
イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
ム	ム	ム	ム	ム	ム	ム	ム	ム	ム
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ	ヤ
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト
モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ

日文字母

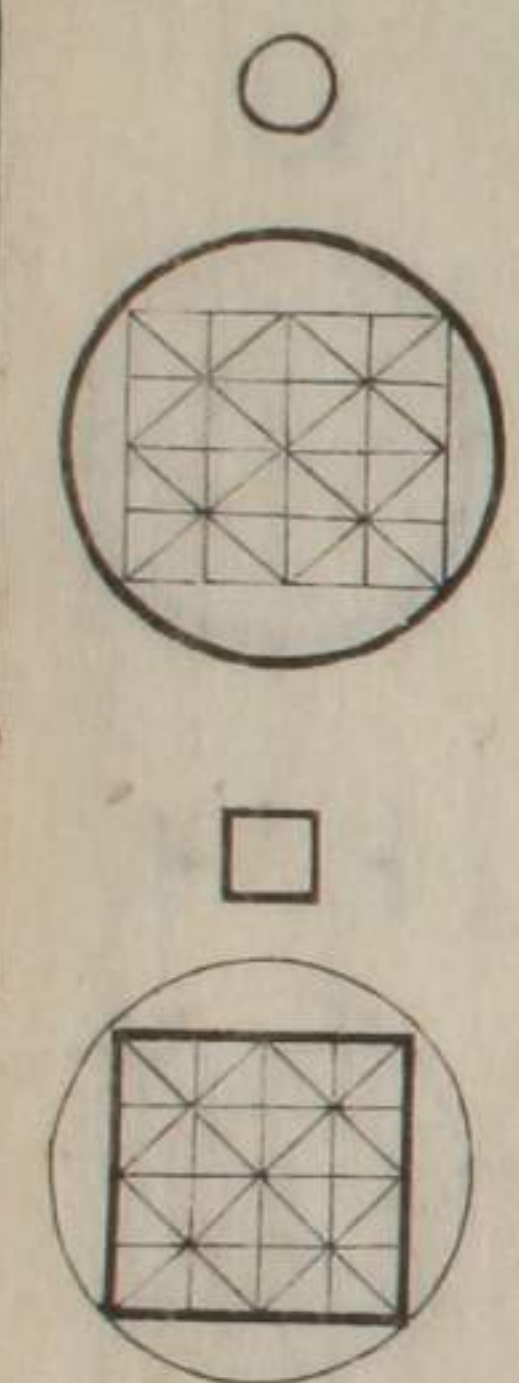
ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ
ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ
ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ
ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト	ト
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ
ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ
ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア

阿比留字
字源及組
織

右神代四十七音、字、者。天兒屋根、命之真傳也。對馬國卜部阿比留氏、内々傳之、可秘、焉。○一本去。右日文四十七言者。日神勅、天思兼、命所作也。一本、マター一本モ。○一本去。右神世行文。中古所謂肥人書也。

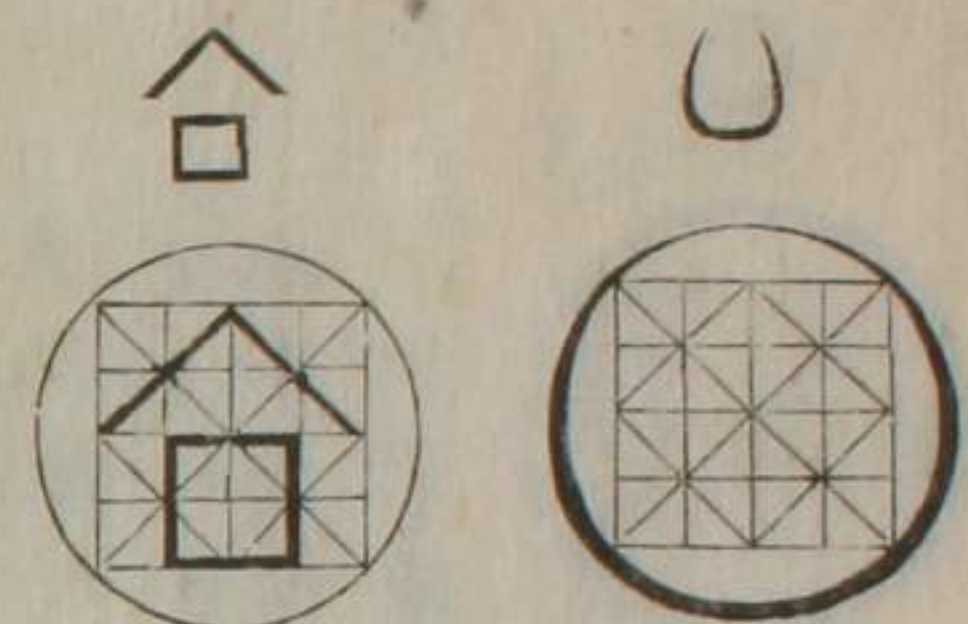
下總國人大中臣正幸傳源八重平。八重平傳之政文者也。政文ハ會津家臣大竹喜三郎ト去へリ、八重平ハ伊奈見左膳ト去シ、人ニテ、明和安永ノ頃ノ人也。

○字源及五十音圖

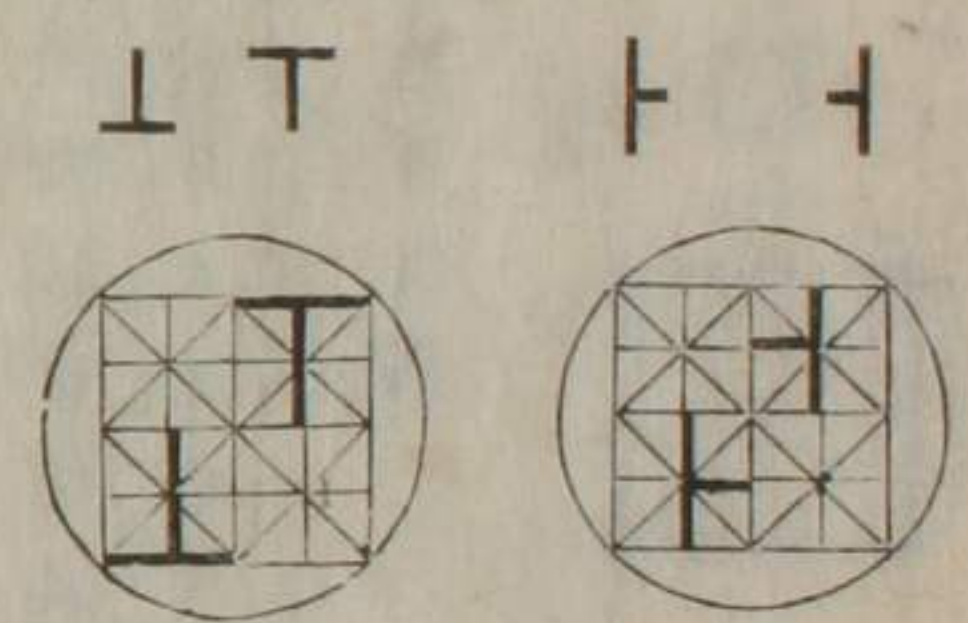


父	母	ト	ク	ル	レ	ケ	テ	エ	ア	イ	エ	ト	ク	ル	レ	ケ	テ	エ	ア
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

日本古代文字考上卷



○縦体阿比留字



此字前文ニ同ジ。
前文ハ横連合ニ
シテ此字ハ縦連

ウ	○	□	工	フ	レ	コ
	イ	ロ	ハ	ニ	ノ	ト
ウ	イ	ロ	ハ	ニ	ノ	ト
	イ	ロ	ハ	ニ	ノ	ト
	イ	ロ	ハ	ニ	ノ	ト
ウ	イ	ロ	ハ	ニ	ノ	ト

コ	レ	フ	工	ウ	母
ク	ド	今	今		ト
ク	ド	今	今	ウ	ト
ク	ド	今	今		ト
ク	ド	今	今		ト
ク	ド	今	今	ウ	ト

合ナリ。字原モ前
文ニ同ジ。

○	□	工	フ	レ	コ
ウ	イ	ロ	ハ	ニ	ノ
ウ	イ	ロ	ハ	ニ	ノ
ウ	イ	ロ	ハ	ニ	ノ
ウ	イ	ロ	ハ	ニ	ノ
ウ	イ	ロ	ハ	ニ	ノ

右神世字。天思兼命所撰云。對馬國ト部阿比留中務傳之。
○一本古。右日文者。日神勅思兼命所製也。筆法祕傳者。筆
意把筆。運筆。全假離合。廣文。縮文。以上七條。ト部家口傳有
之。

神田孝平氏珍藏ノ石劔頭ニ左ノ二字ヲ彫刻セリ

トノ字
日文
合ノ異体

下野下都賀郡赤麻村古塚古字

○日本古代文字考上卷

○二十

小真谷藏

戸劔古字

赤麻村古
碑字

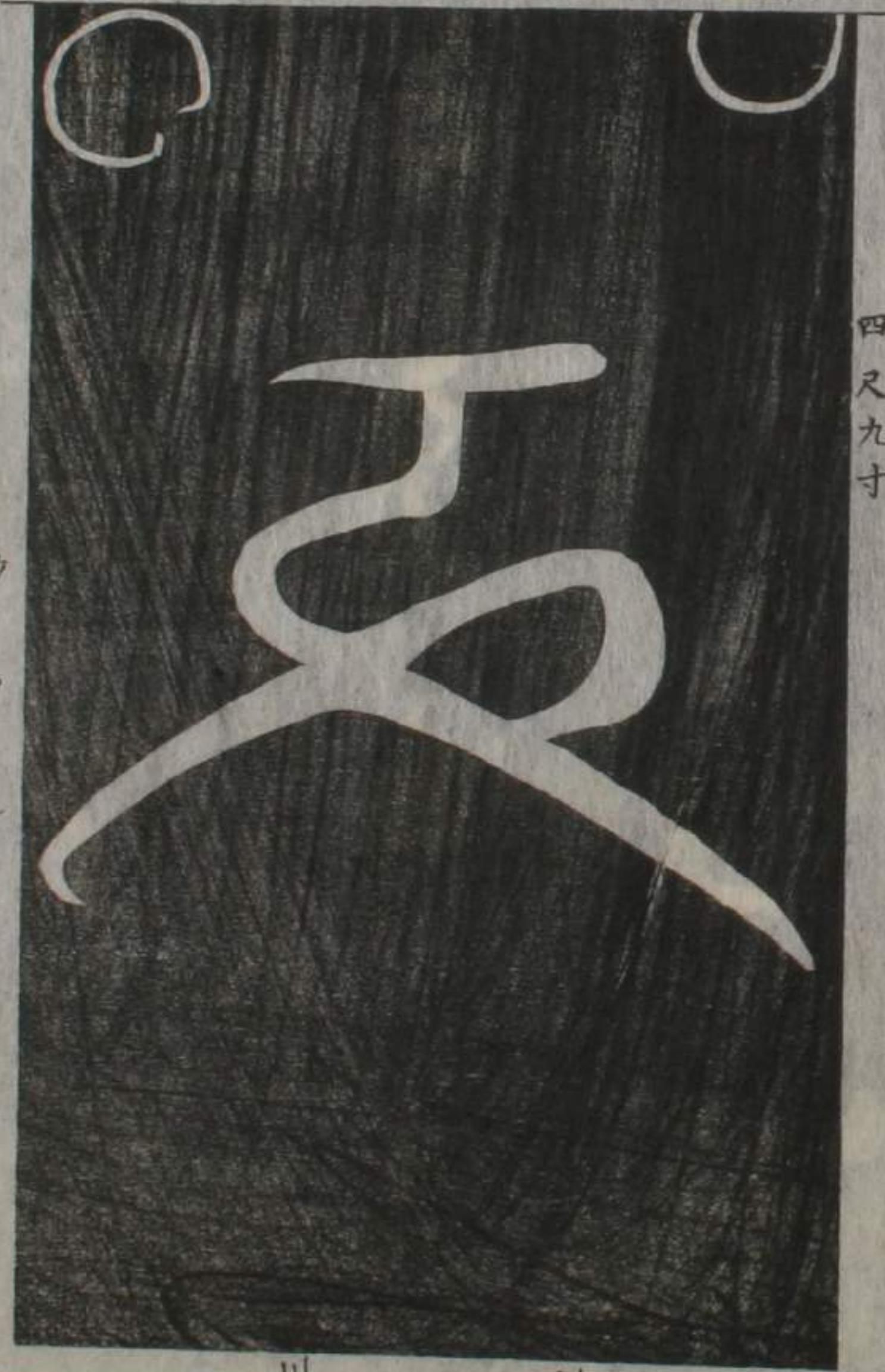
下野國下都賀郡赤麻村北坪山
赤麻村右工門邸
野井吉右衛門
地續平林中古塚
巨石三枚ヲ以テ
蓋トシ蓋ノ中ノ
石ハ塚ノ上ニ拔
出タリ何レモ五
尺計ナリ明モ十
八年ヲ計ル凡ソ
二百年計以前ニ
堀出シタル由刀
劍多環勾玉ノ類
數多ヲ藏セリト
去、明治十九年
四月、下野鹿沼
村沼廣身人記



内藤嘉三郎
印

小松金藏

明治二十一年二月下野
堅木驛海老
沼友喜ニ乞
ヒテ石摺ト
シ此ニ縮寫
セルナリ



四尺九寸

連合体
ト
ク
ツ
ル
ト
ハ
遷所ナルベシ

○阿比留字草体

武藏國畔切神社銅鏤古字

○日本古代文字考上卷

三十一

小松金藏

𠂔 ^リ	𠂔 ^ク	𠂔 ^タ	𠂔 ^ツ
𠂔 ^シ	𠂔 ^オ	𠂔 ^ハ	𠂔 ^ソ
𠂔 ^テ	𠂔 ^エ	𠂔 ^ク	𠂔 ^ヌ
𠂔 ^ノ	𠂔 ^ニ	𠂔 ^メ	𠂔 ^ソ
𠂔 ^マ	𠂔 ^サ	𠂔 ^カ	𠂔 ^ヲ

𠂔 ^シ	𠂔 ^モ	𠂔 ^ム	𠂔 ^ヒ
𠂔 ^キ	𠂔 ^ケ	𠂔 ^ナ	𠂔 ^フ
𠂔 ^ル	𠂔 ^ロ	𠂔 ^ヤ	𠂔 ^ミ
𠂔 ^ユ	𠂔 ^ラ	𠂔 ^コ	𠂔 ^ヨ
𠂔 ^キ	𠂔 ^ネ	𠂔 ^ト	𠂔 ^イ

右武藏國多摩郡畔切神社銅鏤古字慶長八年夷丘ヨ
 リ掘出シ、所ナリ。以後神寶トスト去ヘリ。己レ若年
 ノ時此模寫ヲ得テ珍藏ス。今年二月實物ヲ見ムヲ
 思ヒ立テ同所即チ五日市村ナル松原神社、祠官阿留
 多伎連ノ家ヲ訪ヘリ。然ルニ此銅鏤ハ天保元年十二
 月七日ノ火災ニ罹リ紛失セリト去フ。

明治二十一年
 落合直亮識

古字ノ世ニ傳ル者數種アリ。然レ凡傳寫ノ久キ訛誤甚多ク
 見ルベキ者ナシ。此書模寫ナリト雖古雅最モ愛スベシ。
 ○出雲字傳ニ載スル所

古字ノ世ニ傳ル者數種アリ。然レ凡傳寫ノ久キ訛誤甚多ク
 見ルベキ者ナシ。此書模寫ナリト雖古雅最モ愛スベシ。
 ○出雲字傳ニ載スル所

^リ 机	^ウ 可	^タ 孔
甲	可	口
^ヘ 迄	^オ 王	^ハ 白
合	上	白
^テ 龜	^エ 心	^ク 夕
下	心	夕
^ニ 孔	^ニ 心	^メ 可
上	心	可
^マ 奇	^サ 長	^カ 名
古	上	古

^ツ 弓	^シ 可	^モ 心
下	可	心
^フ 弓	^キ 弓	^チ 心
下	弓	心
^ヌ 弓	^ル 弓	^ロ 心
下	弓	心
^ソ 弓	^ユ 心	^ラ 可
下	心	可
^ヲ 弓	^キ 心	^ネ 心
下	心	心

ス
 ..
 ア
 〇
 セ
 〽
 エ
 〽
 ホ
 〽

右出雲國大社所傳也。以上ハ墨ニテ記シタリ、以下武藏國人
 金井滌身麻呂傳政文者也。金井滌身麻呂何人ト云フ
 リ、千家君云、大社ニ古字ヲ傳ヘシテ、祖父以來聞カズ、雨
 森精翁ト云、者、淵寺ニ讀書ノ師タリ、云ク同寺ニ古字
 ヲ傳フト云、出雲大社ノ古字ハ何レノ世ニ失タルカ
 ト云リ、然レバ出雲大社ノ古字ハ何レノ世ニ失タルカ

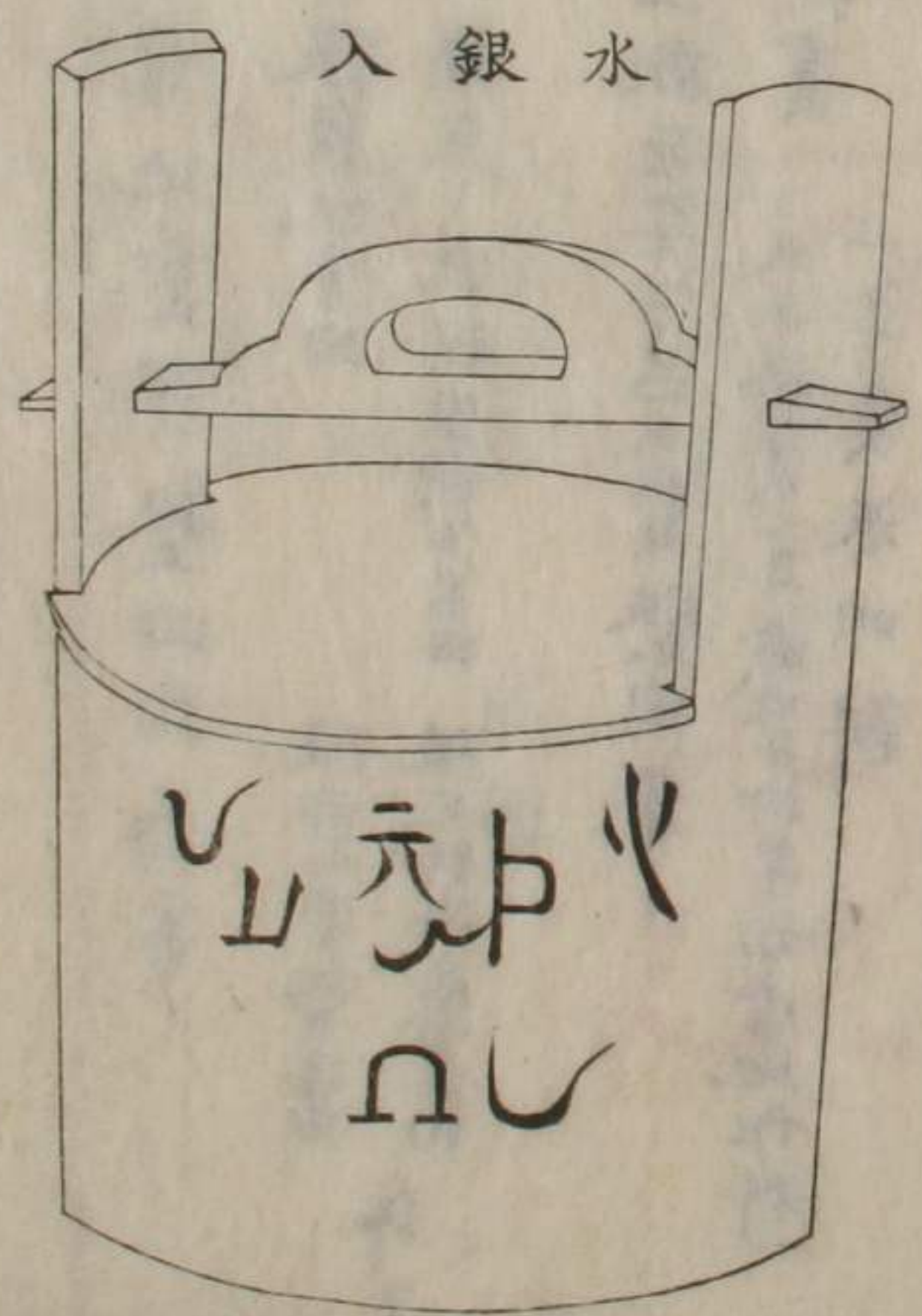
木器古字

詳ナラズ、享保頃ノ學者新井君美出雲大社ニ竹簡ニ書
 ケル文字アリトイヘレバ此頃マデハアリシニヤ、此文
 ノ以テ日ノ草体ハ阿比留字
 ノ真体ヨリ出タルヲ知ルベシ、

○伊勢國多氣郡丹生村神宮寺藏

神護慶雲ノ
 頃同村大谷
 山ニテ水銀
 ヲ掘リシト
 アリト云ヒ
 傳ヘタリ。

此器ハ丸
 木掘ナリ



○古券印影 梅園奇賞所載、大和國東大寺所藏、古券印影八埋、齋發香二由、

拓殖鄉長解 申常地賣買墾田立券事

神田漆段 上 限東紀寺田 限西石亭方呂田
 南京、敢朝臣類方呂田 限北物亭廣方呂田 下

拓殖鄉戶主敢臣安方呂之賣墾田者

付價錢捌貫 天平勝寶三年歲次辛卯年始常地作料 一年貢米四斛

右墾田買得處元興寺三輪象

以前墾田賣買人依法式立券者如件仍

具錄狀申送以解

天平勝寶元年十月廿一日

田主 敢臣安方呂 尾 臣丹麻呂
 一本

證人 壬生少授 同姓

石市石村

中代方呂

筆取 壬生淨足

稅長 石亭了果安麻呂

桃尾印



印章

ルモ
ルモ
037

漢字ノ印ヲ用ルル専ラ持統天皇ノ頃ニ始
ルト雖古字印ヲ悉ク廢シタルモノニハ非
ルベシ天平勝寶ハ持統天皇ノ世ニ後ル
796年トス

高良杜印



印章

ル
ル
ル

義詳ナラズ神名ナルベシ

植字ナリ彫刻セシモノアラズ

○大和國宇陀郡春日井村人宇陀太郎所藏
銅印鈕巖上猿

宇陀氏印



印章

ル
ル

○豊前小倉人渡邊修齋氏所藏銅印



印章

ル

○肥後熊本小山多乎里所藏銅印



印章

ル

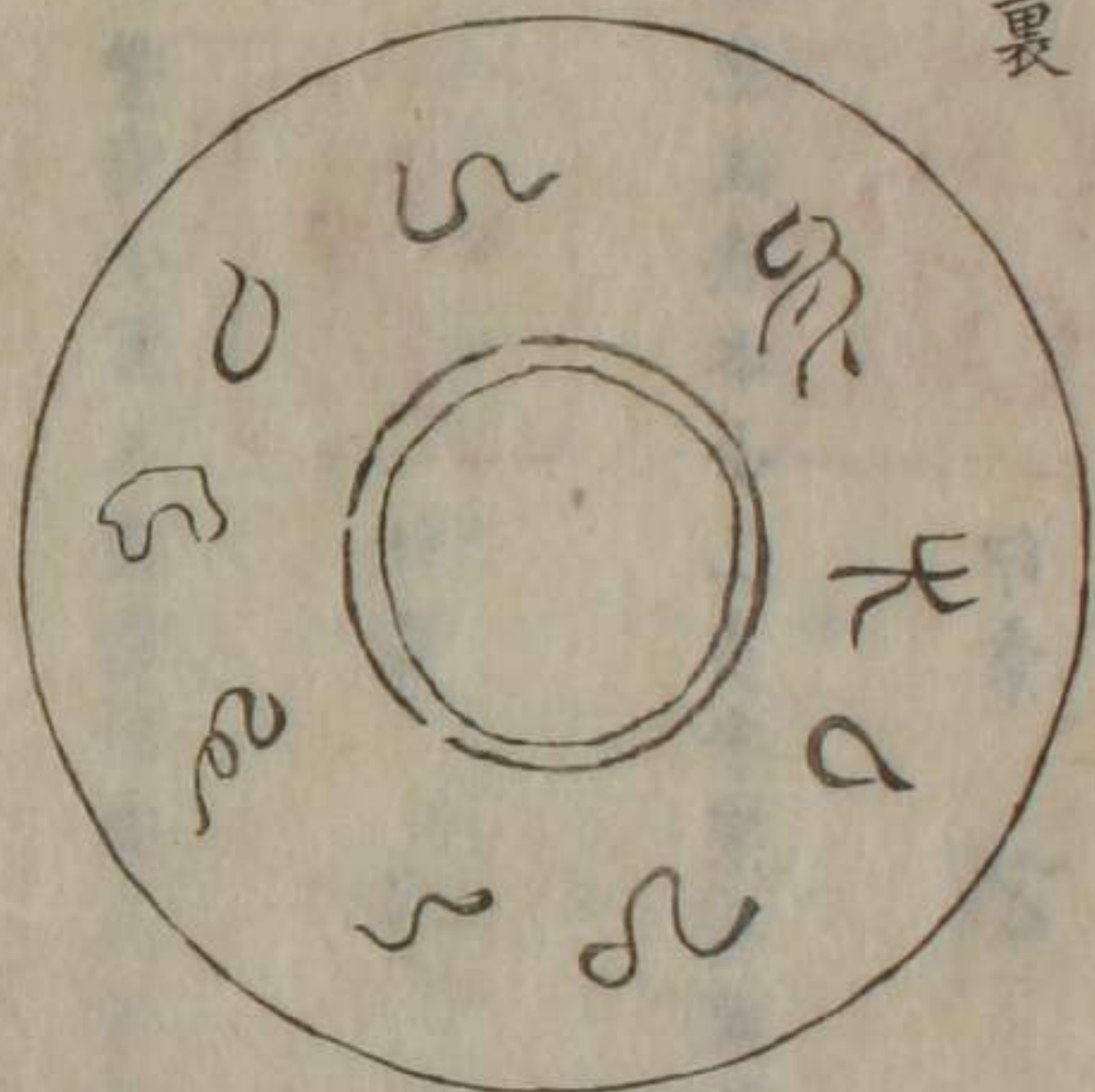
持統紀六年九月神祇
官奏上神寶書四卷鑰
九箇木印一箇トアリ。
參考スベシ伊勢神宮
ノ印ハ天平中初造ニ
シテ長徳ノ改造ニ係
ル。漢字印ヲ用シハ持
統天皇ノ頃ヲ始トス
ベシ。

小山氏印

渡邊氏印

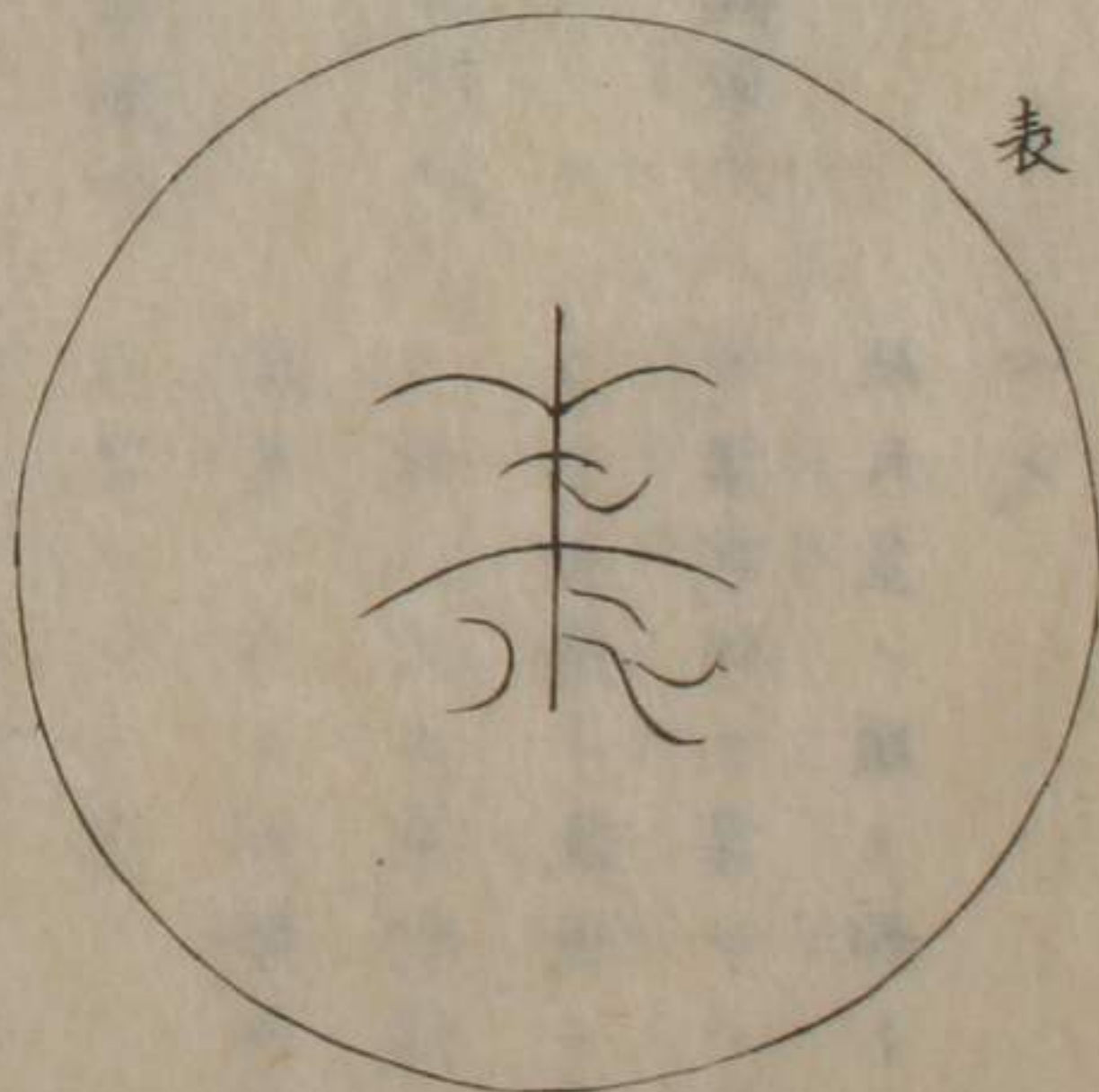
土坏古字

裏



○肥後大津町伊勢屋所藏土器字

表

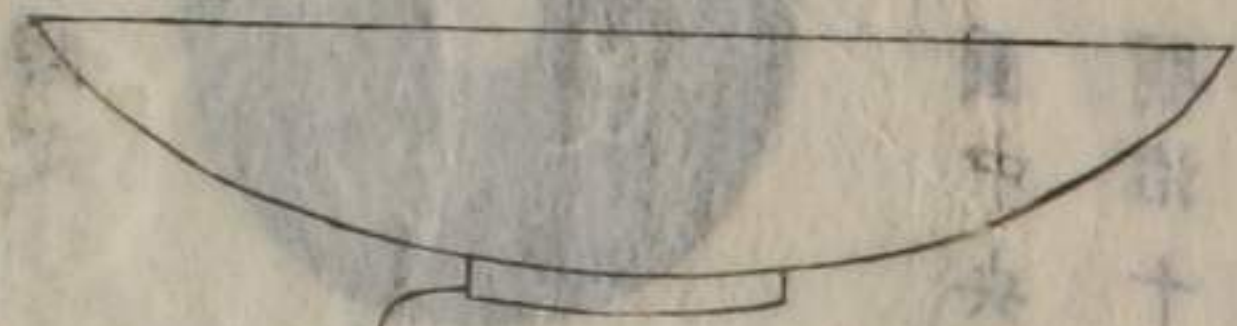


しモ じモ
わヒ びヒ
ゆキ びキ
わヒ びヒ
埃結 モヒ
埃酒 モヒ

茶

日文傳附録士
アノ

側面形



徑三寸三分
深五分
色薄鼠
形聊存レリ
字凸彫

雄略紀二十七年
春三月詔土師連
等使造應盛朝夕
御膳清器トアレ
此時代ヨリ漸
精工ノ土器アリ

○日本古代文字考上卷

三十八

小倉館藏

大津町伊勢屋某ノ先
祖某加藤清正ニ從テ
小西ト佐山ニ對陣セ
シトキ陣中水ニ乏シ。
某山腹ヲ穿テ水ヲ求
メントス。時ニ神ノ根
ノ間ニ此土器ヲ得タ
リ。其時長田某老翁見
テ神字ナラムト云。今
傳ヘテ家ニ秘藏ス
。明治十五年肥後國
帆足正久記。

石器古字

青石 陰文



横ヨリ
見ル
ヤナサカ
神名ナルベシ

大如圖中央ニ穴アリ

明治十九年六月神官倉科吉信ト共ニ寫ス

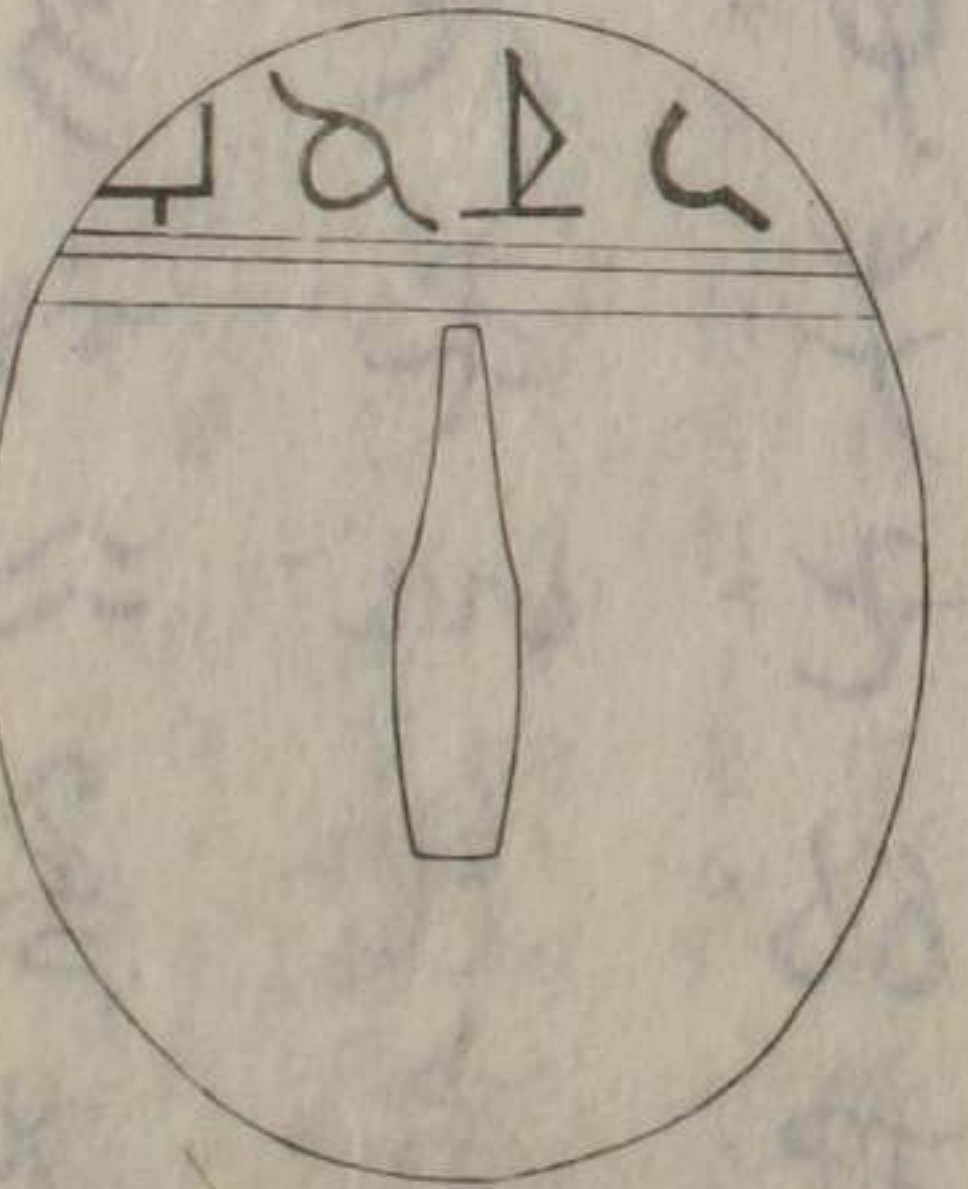
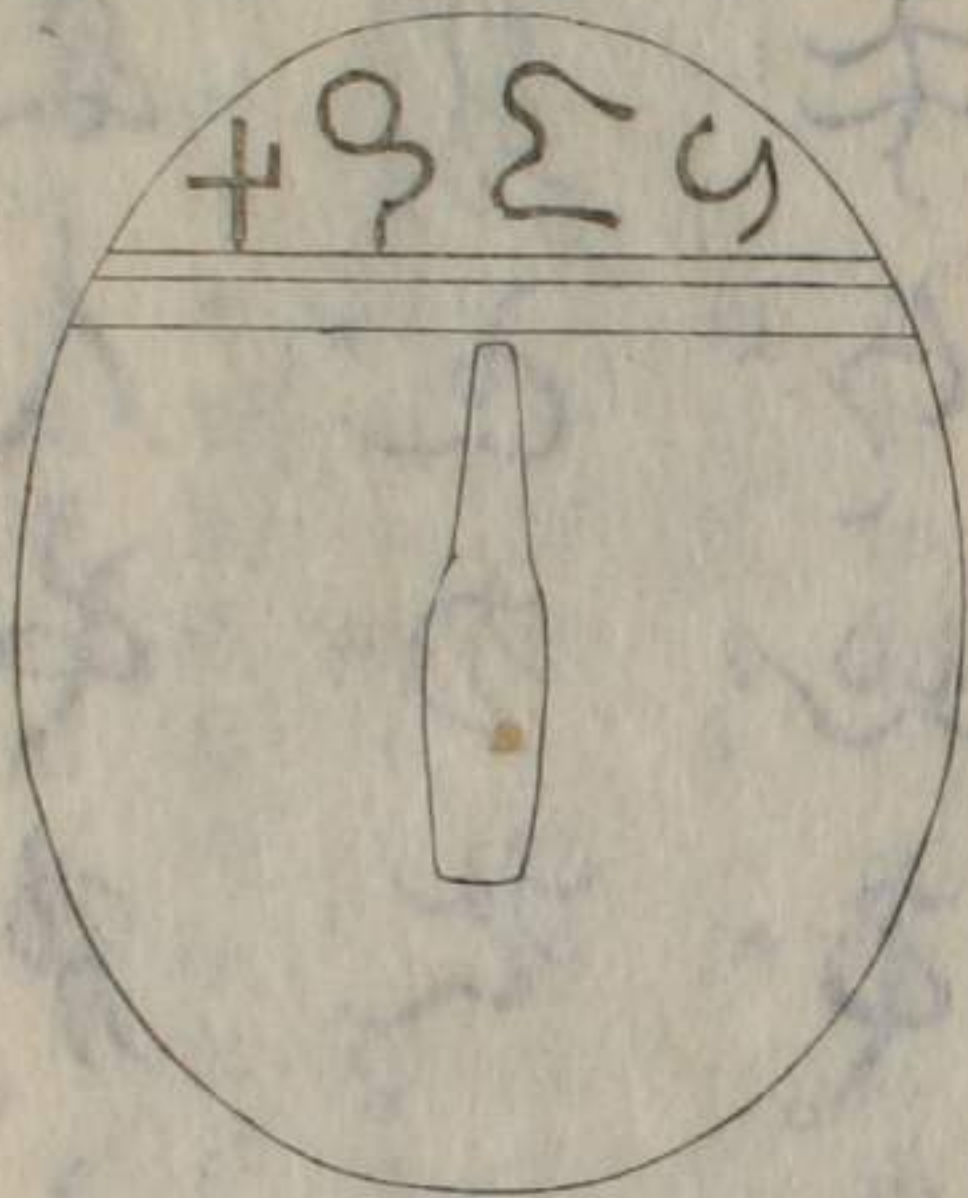
塚田菅彦

○越後中頸城郡宮内

村。宇社山鎮座。式内

斐太神社神体ノ内。

鐵鍔古字



○武藏國多摩郡挽田村館林彌吉所藏鐵鍔古字。是元來鍔ニ非ルヲ何人カ改造セシモノナルベシト云。明治廿一年二月阿留多伎氏ノ本ヲ以テ之ヲ寫ス。落合直亮

如此ヨムベキカサレバハ六行成字ニシテ、其他ハ守恒字也。守恒字ノ余ニ載スベシ。

○阿波字 陸前本吉郡、加美郡及信濃伊奈郡等同字アリ。阿波國大官ニ傳フル所ナリ、今阿波字ト名ク、

○日本古代文字考上卷

○二十九

小倉

スベクモアラズ。形圖ノ如ク丈四尺幅廣キ所一尺六寸四方
角ナキ自然石ナリ。三十年バカリ前土中ヨリ掘出スト去フ。
明治二十一年一月祠官伊東太仲石摺ニシテ之ヲ贈ル希代
ノ古字ナリ。



丈々四尺

本 共 ニ 示

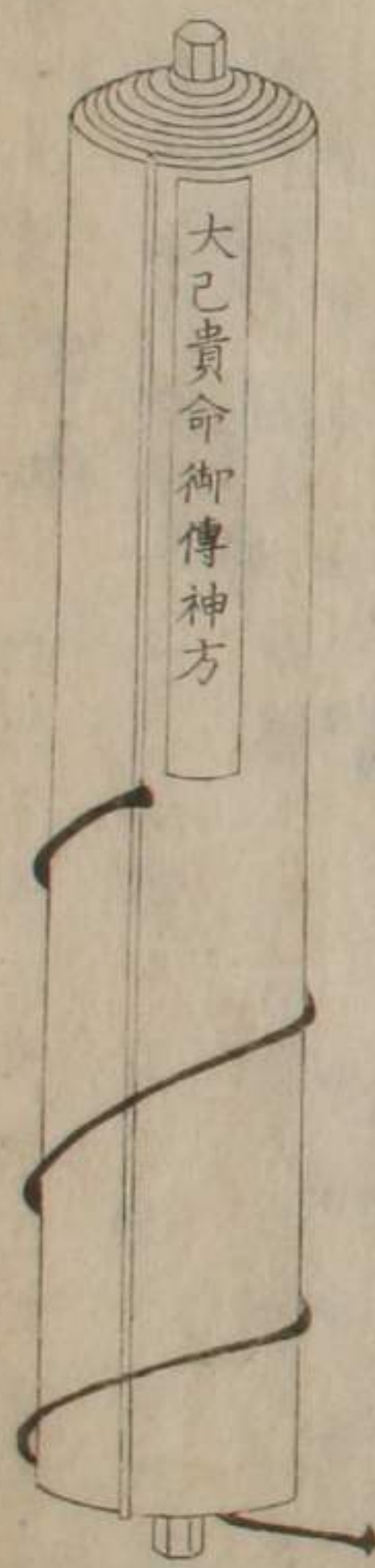
此五字ノ外年號姓名等一字モナシ。明治二十年八月

示ニ共本

落合直亮檢之

傳附録ニ阿波大宮神主光長ガ傳授スル中臣被詞ヲ伊勢
龜山ノ岩田惇徳ト云シ者天明七年五月ニ仙臺本吉郡祭
田村玉井宮内ヘ贈リシ由ノ奥書アルモノ見エタリ。然レ
バ龜碑モ天明以後ノモノカ。常世長胤去阿波國大宮ニ傳
奧國ニ傳ヘシナリ。寛延二年ニ記セル松山探齋ノ奥羽旅
行記ニ此字ヲ載セタリ。今按ズルニ若シ此說ノ如クナ
レバ大宮神主光長陸奥國ニ傳ハリシ古字ヲ以テ中臣被
詞ヲ記シ、ヲ岩田惇徳再ビ玉井宮内ヘ贈リシモノナル
ベシ。然レドモ大宮ニモ古來種々ナル古
字ヲ傳ヘシテ神名書ヲ見テ知ルベシ。

○下野國宇都宮中里千族家藏卷軸古字



○日本古代文字考上卷

字体

^ユカ^キ ^ヤシ ^セヤ ^シカ ^リカ ^キカ
^ヤシ ^セヤ ^シカ ^リカ ^キカ
^ヤシ ^セヤ ^シカ ^リカ ^キカ
^ヤシ ^セヤ ^シカ ^リカ ^キカ

如此藥法二十九條ヲ記ス。今之ヲ略ス字体ハ阿波字ニ類ス。

奥書

陸奥國加美郡平柳邑菊地意水家珍秘藏而所世々傳來也

維昔寛政未歲秋八月傳授寫畢

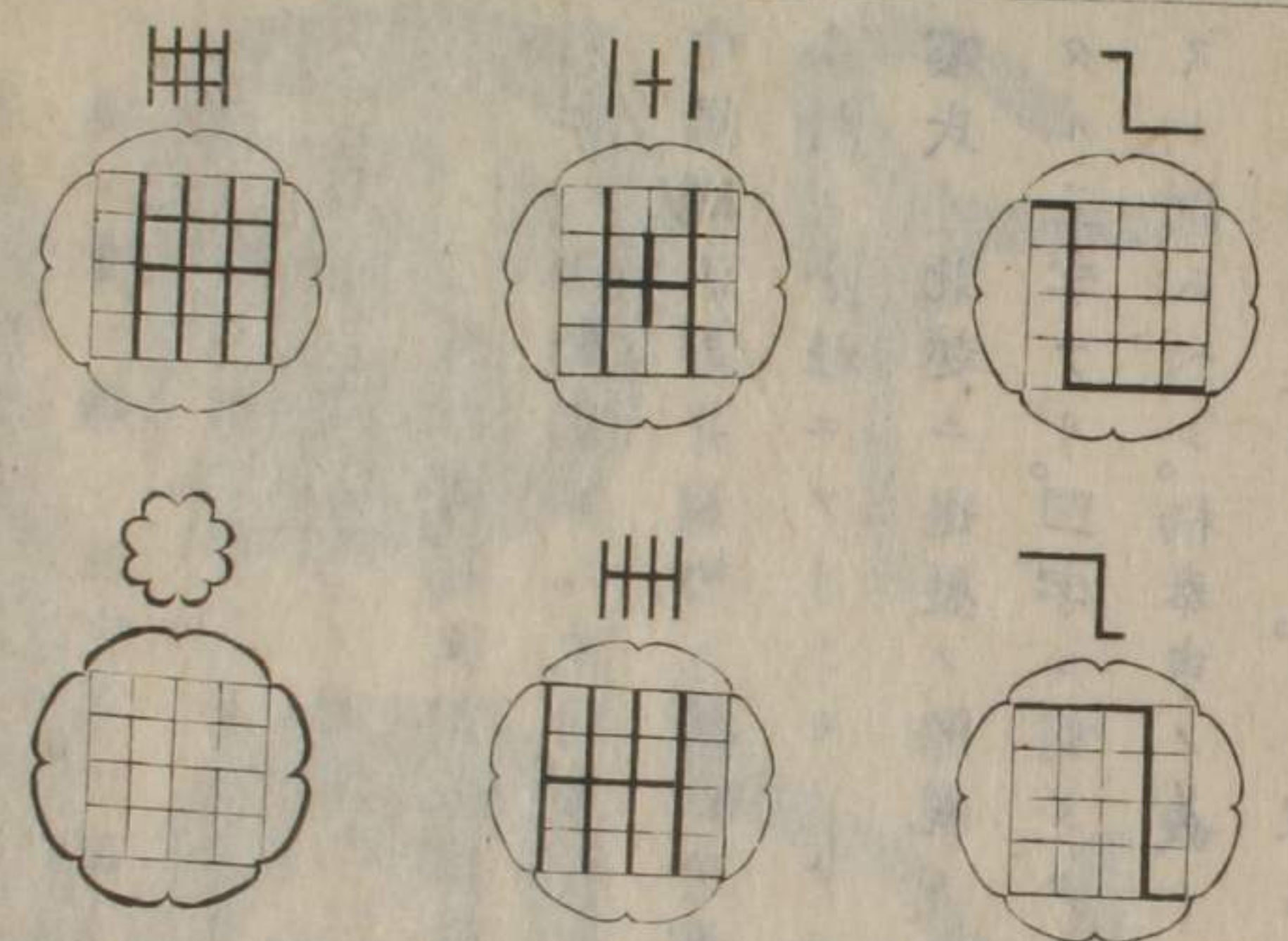
衣關煩庵

源貫五

○信濃國伊奈郡赤須村美女森神社古字。阿比留草体字及阿波字等ヲ以テ記セリ。

此文字ハ倭建命東夷征伐ヨリ歸途此地ニ立寄ラセ賜ヒ
 シ事跡ヨリ天曆頃マデノヲ記セリ。明治二年我兄直亮
 伊奈縣大參事タリシ時己モ彼所ニ遊ビテアリシガ同縣
 主記青嶋貞賢五嶋廣高等ト彼社ニ到リテ神官小町谷氏
 ヲ責メテ古字ヲ出サシム。直澄之ガ訓解ヲ加ヘムト甚苦
 メリ。然レドモ漸意ヲ解釋スルヲ得タリ。是ヨリ美女神字
 世ニ現レタリ。假字ノ違ヘル或ハ文ノ拙キ所ナドアルヨ
 リ種々ノ説モアレド我別ニ考アリ。

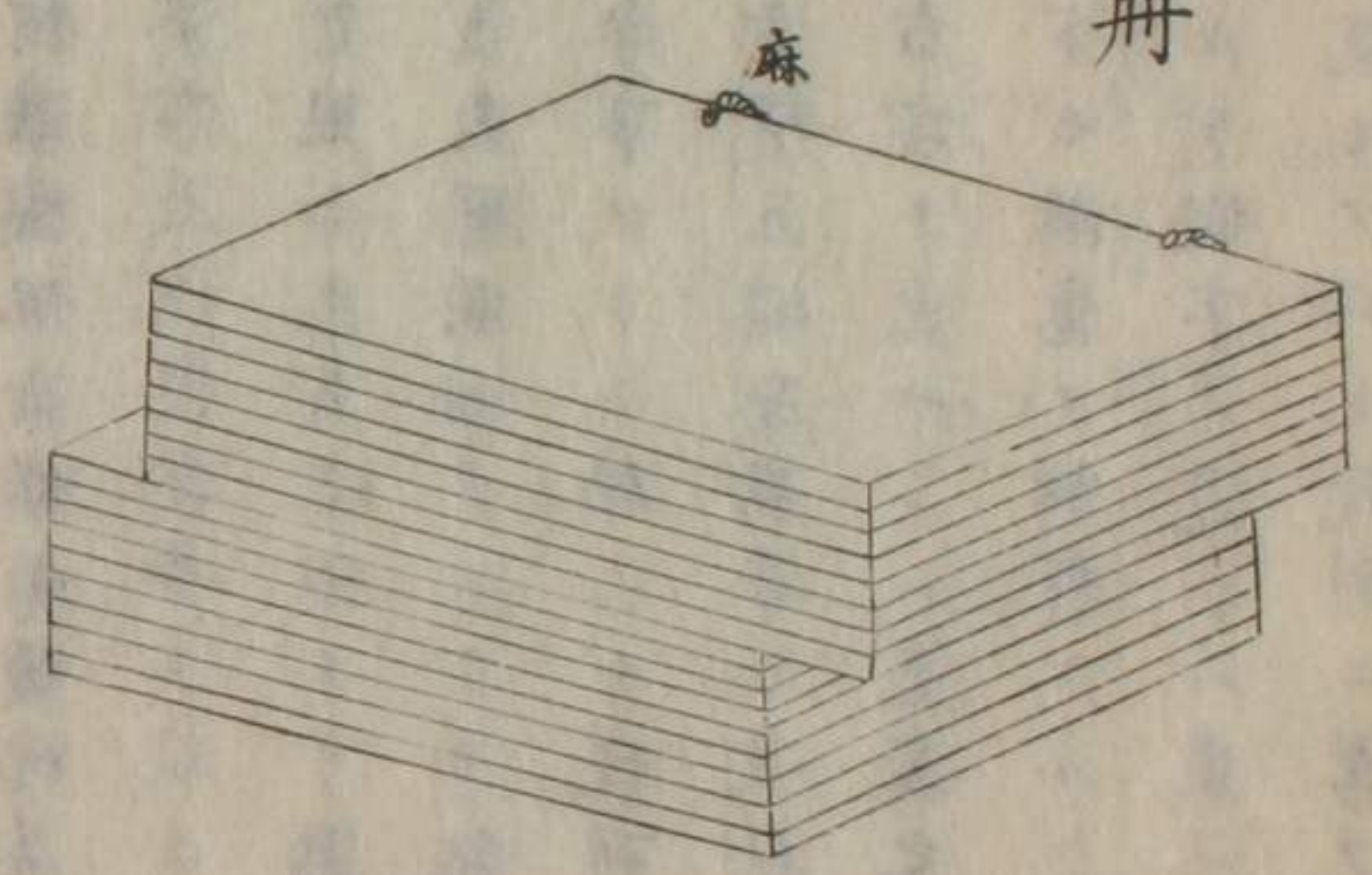
惟足字
源及五十
音



畫六	畫五	畫四	畫三	畫二	畫四	畫三	畫二	畫一	
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	父母
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	一
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎

桐板古字

桐板二冊



●第七章惟足字
字源及五十音
惟足ノ傳フル
吉川惟足ト名ク

百年バカリ
以前本書焼
失シテ今ハ
新調ノ板ナ
リ。是ノ遺
憾ニ堪ヘガ
ルナリ。

此字体傳附錄ニ載スル所甚紛亂セリ今訂正ヲ加フ。說此處ニ盡シ難シ。此字第一段一川等ヲ以テ父トシ一ヲ以母トシ阿段^{カサク}二三等ヲ合生シ。再ビ^{カサク}二三等ノ段ヲ父トシ阿行^{イウエオ}二三母トシ三十六子字ヲ合生セリ。

○越中國礪波郡井瀉町八幡社所藏石棒ノ銘

東京人類學會第八號明治十九年十月報告神谷由道ノ記越中國礪波郡井瀉町八幡社所藏其先ハ同郡五箇山ト云ヘル山村ノ小社ニアリシモノナリト云。我友人西京ナル關口老雲氏ノ北越ニ遊歷ノ際親シク寫シ取ル所ナリ。凸字ニ刻シタル三字アリ。凹字ニ刻シタル三字アリ。直澄去。エアケマフスト訓ムベシ。柄奉申ノ義ニテ柄ハ石劔ヲ指スナリ。マフスノ三字惟足字ナリ。申ノ假名違ノ一ハ別ニ論アリ意トスル

石劔古字

ナカレ。

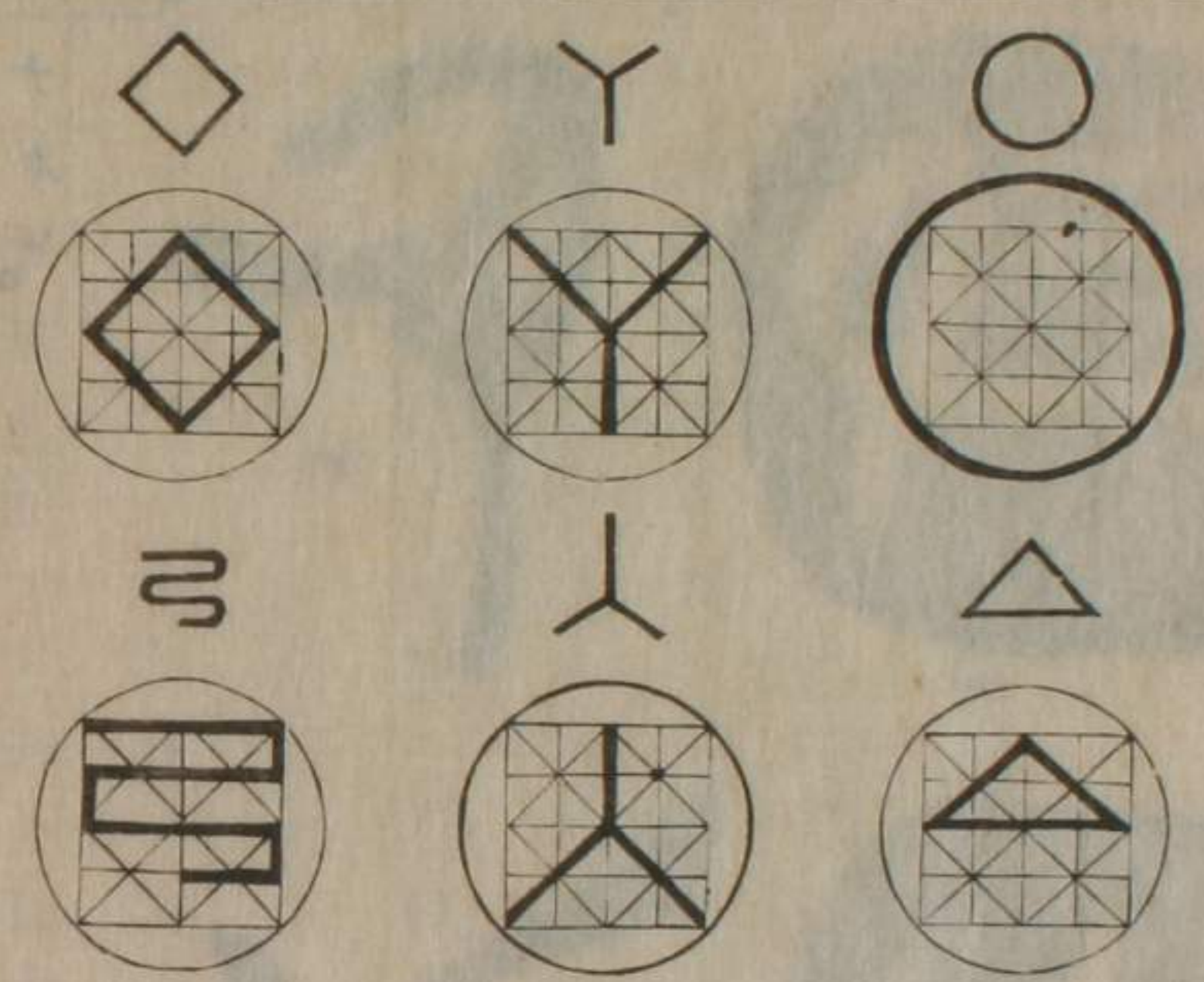


一尺二寸餘

●第八章伊豫字
字源及五十音

伊豫城下八幡神主某ノ
傳フル所伊豫字ト名ク

伊豫字
源及五十
音圖



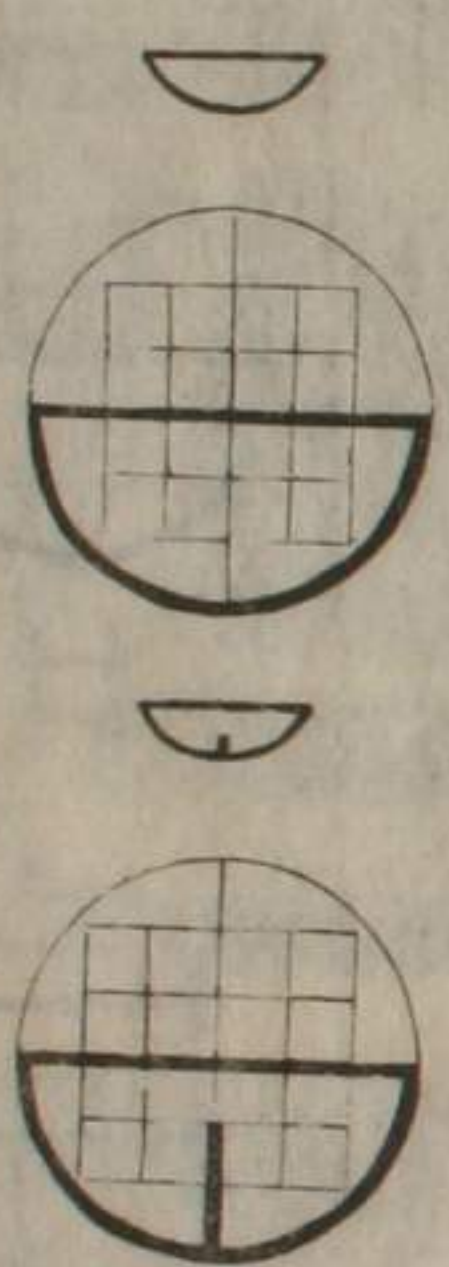
◇	人	上	工)(+	Y	-		·	父 母
◇	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	⊙	○
■	内	丹	丹	丹	丹	丹	丹	丹	丹	□
◇	火	△	△	△	△	△	△	△	△	△
■	吏	考	考	考	考	考	考	考	考	弓
◇	貝	田	田	田	田	田	田	田	田	□

小槇舎藏

筑紫字
源及五十
音圖

●第九章筑紫字
字源及五十音

丹後國熊野郡鹿野村ノ舊家ニ傳フル所ノ神事記此字ヲ
以テ記セリ。但シ雅俗ヲ混ジタル文体ナレハ上古ノモノ
ニ非ルハ論ナシ。飾リモナケレバ偽物トモ見エズ。此神事
記ニ◎^ア◎^ワ◎^ク◎^エ◎^マ◎^ハ◎^ヒ◎^フ◎^ノ◎^ハ◎^ニ◎^書ケルハ草体或ハ異体ナリ
△^ユ△^ルハ正体ナリ。◎^ク◎^ヲ◎^ンニ用タリ。日本紀秀真傳ト士フ書
此字ヲ以テ記セリ。



⊂	⊂	⊂	⊂	父 母
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎

。日本古代文字考上卷

三十五

小槇舎藏

キバツノ枝一



キバツノ枝二



一枚

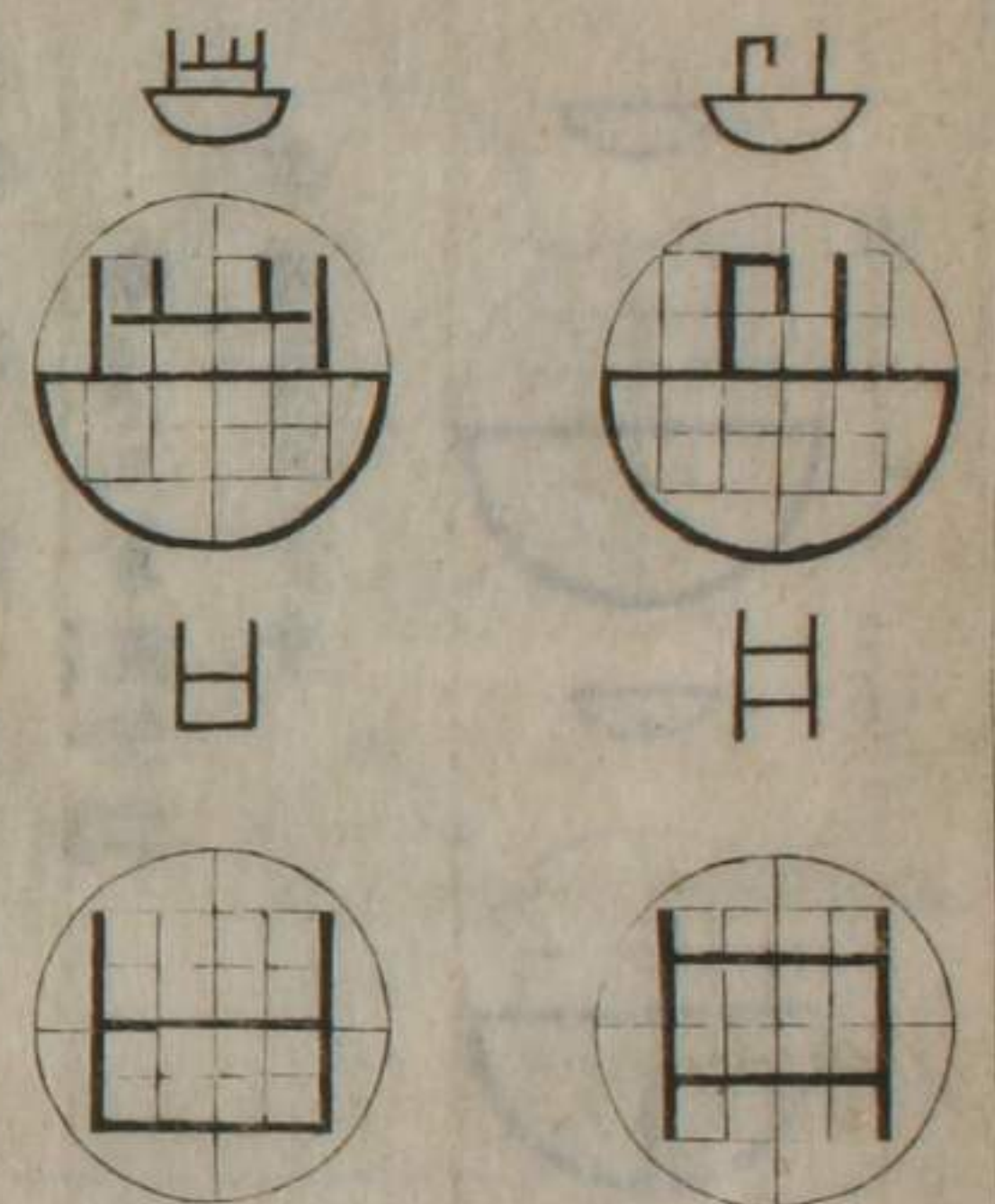
○筑後國生葉郡上宮田村

定

字重

石窟中ノ文字

一枚



日	日	日	日	日	日	日
日	日	日	日	日	日	日
日	日	日	日	日	日	日
日	日	日	日	日	日	日

小真舎藏

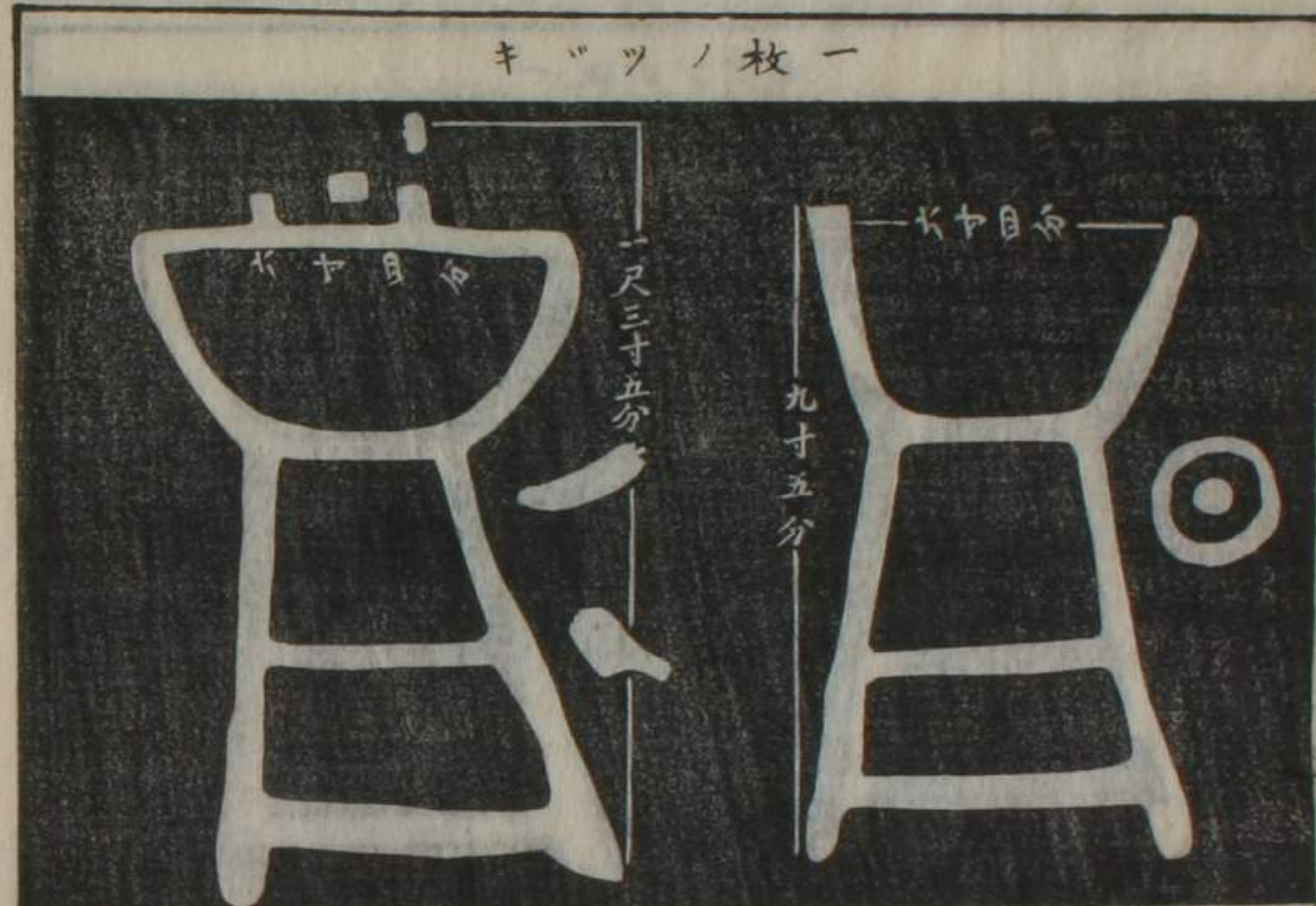
キツツノ枝一



キツツノ枝二



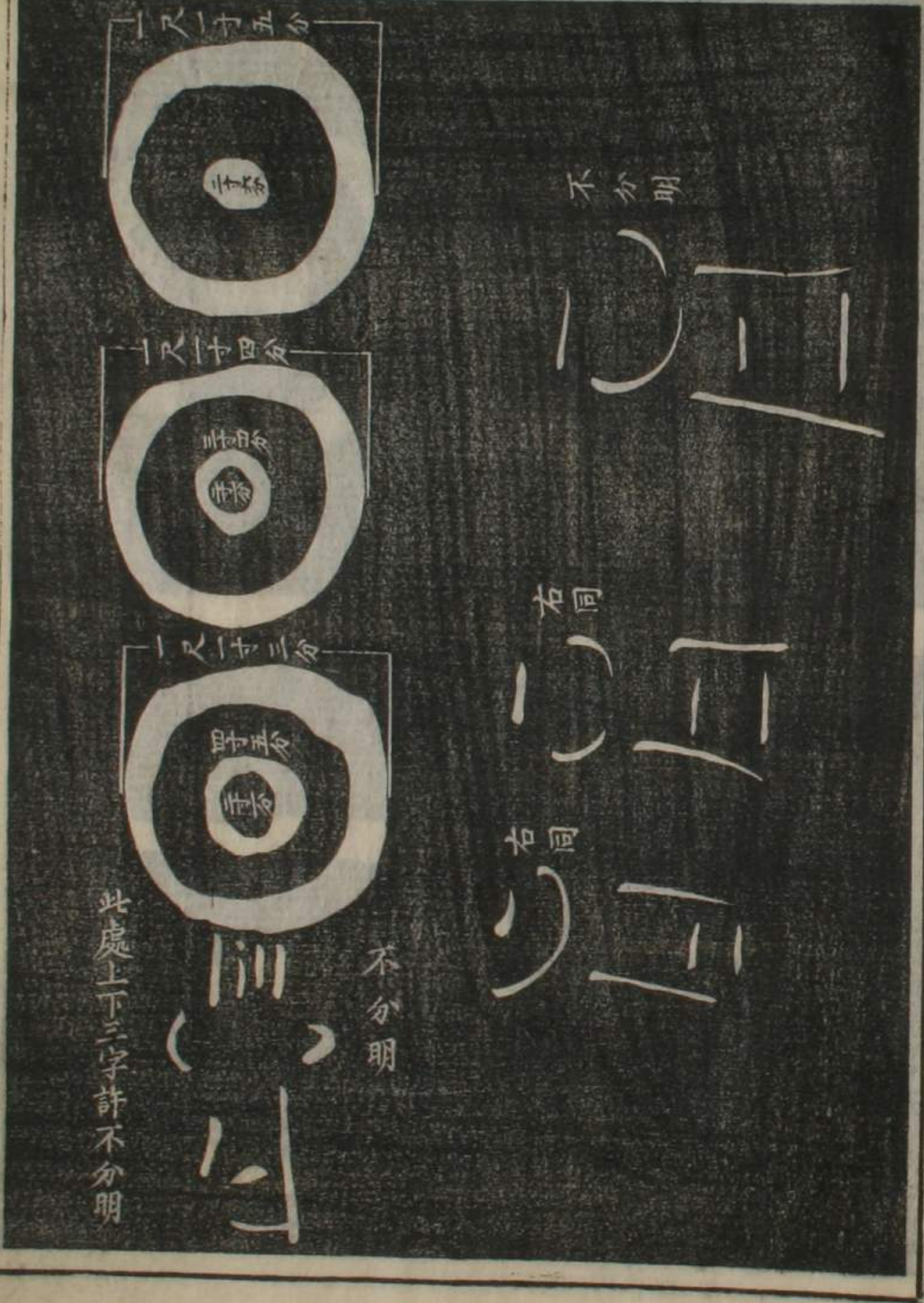
キツツノ枝一



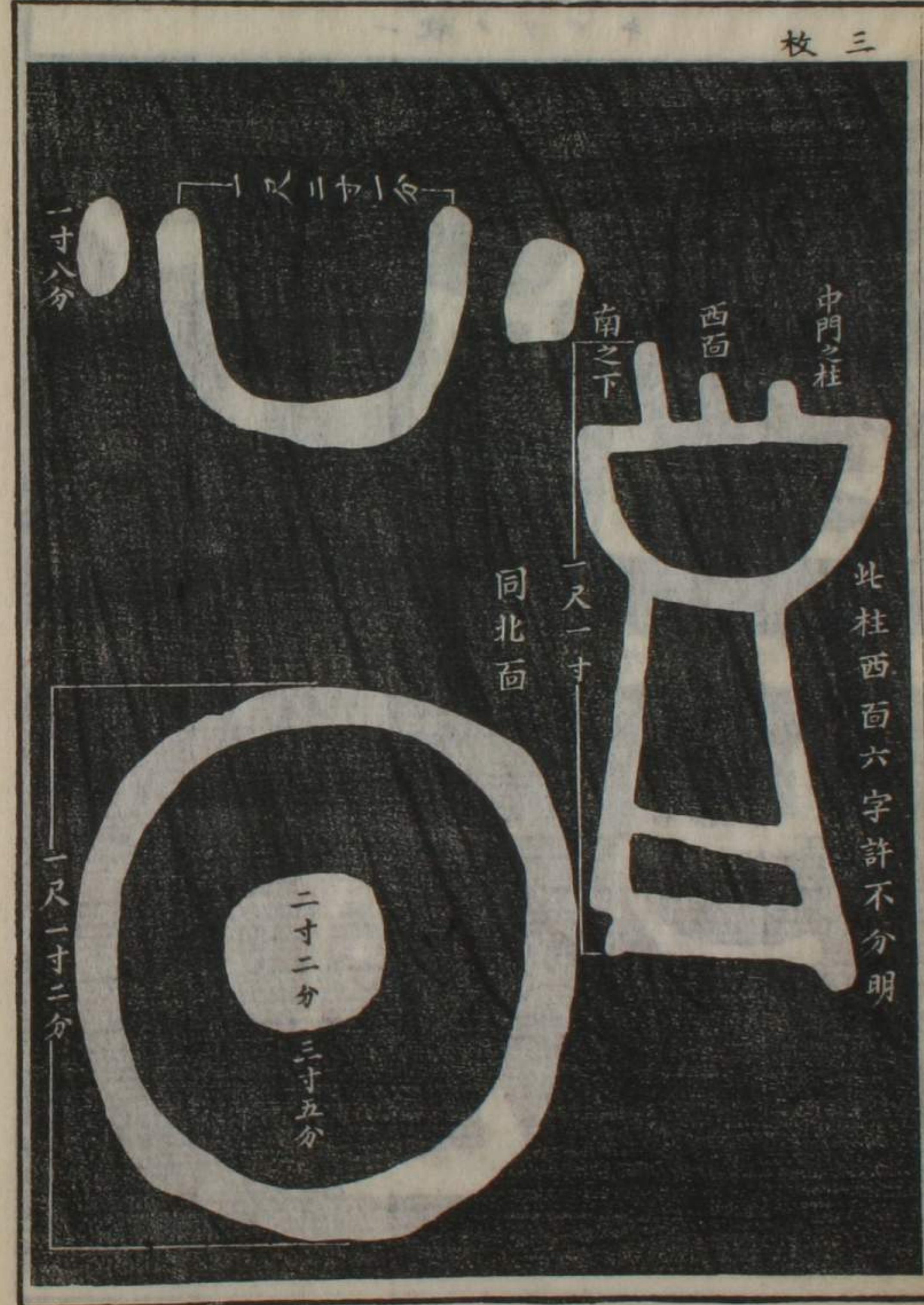
キツツノ枝二



四枚



三枚



七枚ノツキ



石室中ニ摸寫ス
紙數七枚

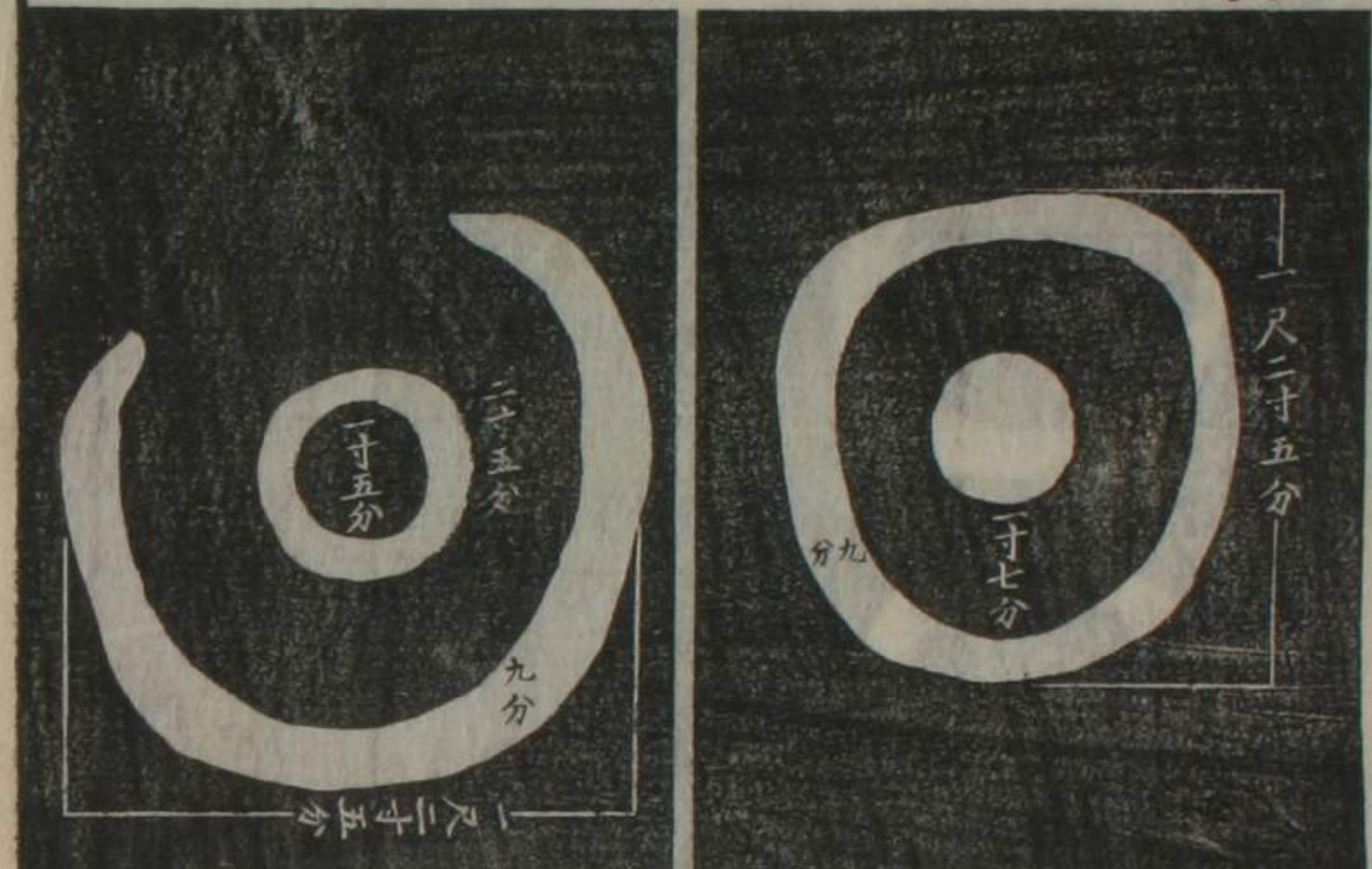
早川一照
村上量敏

久留米藩士

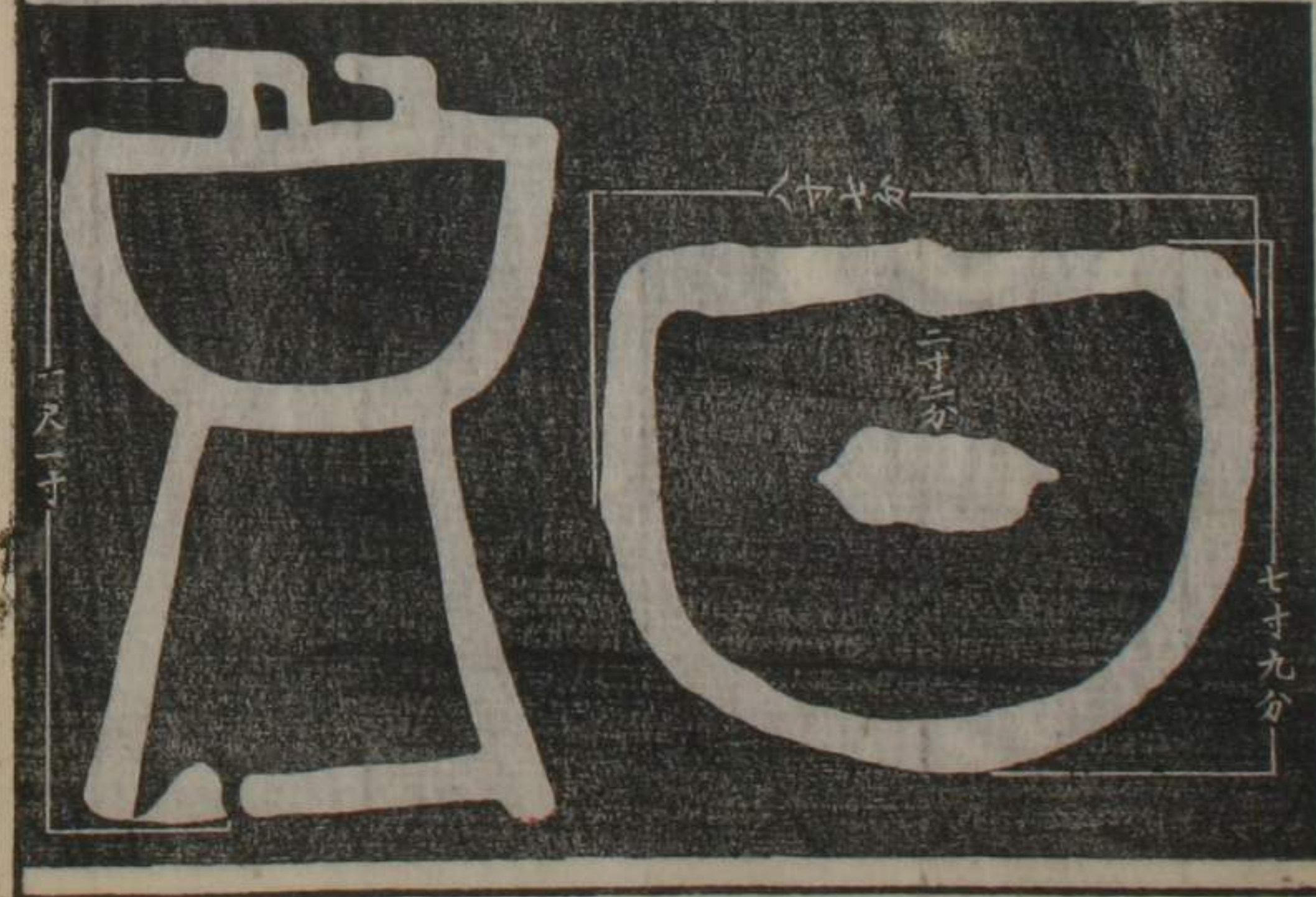
文政八年三月五日

七枚

五枚



六枚



此古字傳附録ニモ載セタレド人々相傳ヘテ寫誤錯亂セシモノト見エテ字体甚疑フベキモノ多シ。今村上量敏等ノ模寫セシ原圖ニヨル。又此字体ヲ見テ奇トスルノミニテ古來説アルヲ聞カズ。今字母ヲ搜索シテ五十音圖ヲ製ル。後來讀法ヲ知ルノ一端トナラバ幸ナリ。此古字中傍ニ
 〇〇〇〇等ノ點ノ如キモノヲ附スルアリ。梵字ニ〇、
 等ノ點ヲ加ヘテ長呼トスルニ似タリ。
 又ハ〇〇〇〇如キ字アリ。是類字母カ點カ詳ナラズ。傳附録ニモ此文字數體アレド分明ナラズ。石窓ハ南ニ向キタリ。文字スベテ右ノ方少カ下ガレリト有リ。
 ○神谷由道古代文字考所載 東京人類學會第九號明治十九年十一月報告

又ハ〇〇〇〇如キ字アリ。是類字母カ點カ詳ナラズ。傳附録ニモ此文字數體アレド分明ナラズ。石窓ハ南ニ向キタリ。文字スベテ右ノ方少カ下ガレリト有リ。

松浦北海石
 翁庭中石
 面ノ文、
 此石、或、
 藩邸ノ中、
 石垣ナリシ
 トモニ在ス



打本縮寫(三分二)

直澄六、上ノ二
 字ハ筑紫字七
 枚ノ字ニ似タ
 リ、

○日本古代文字考上卷



直澄六、此二字
 筑紫字、
 字原ニ似タリ

越中國高瀨
 波郡高瀨
 村式内高瀨
 瀨神社所
 載石造解
 口本縮寫
 打本縮寫



直澄六、此二字
 筑紫字、
 字原ニ似タリ

●第十章對馬字

へ	木	𠂇	𠂇	𠂇
ス	ウ	ツ	モ	ヒ
𠂇	虫	𠂇	𠂇	𠂇
ア	オ	ワ	ナ	フ
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
セ	エ	ヌ	ロ	ミ
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
エ	ニ	ソ	ラ	コ
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
ホ	サ	ヲ	ネ	イ
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
レ	リ	タ	シ	ム
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
ケ	ヘ	ハ	キ	ナ
𠂇	𠂇	𠂇	𠂇	𠂇
	テ	ク	ル	ヤ
	ノ	メ	ユ	コ
	マ	カ	虫	ト

此文字ハ日本文傳附録ニト食之兆文也トアルガ如シ。

ト兆 此圖ヲ以テ字原トス

此兆文ヲ鹿骨龜甲等ニ彫リテ火モテソノ兆文ヲ焼ク時
 拆割ル、ヲト食トハ去フナリ。

ト食

ト食大凡如此其拆狀ニ因テ吉凶ヲトフナリ。漢土ニ傳フ
 ル所ノ龜トモ元同種ノモノト見エテト兆ヨリ出タル文
 字漢土ニモアリ。即我ト兆ノ文字ト凡ソ同体ノモノナリ。
 ト小補韻會ニ說文ト灼剥龜也。象炙龜之形。一曰象龜兆之縱
 横也。又曰作ト徐鍇曰兆有如此者トアリ。トヲ龜兆之縱横ノ
 文ニ象ルト云ハト此ノ如キ兆文ヨリ出タル由ナリ。又ト
 ニ作レルモノアルハト食ノ文ヨリ出タルヨシナリ。

篆字彙曰。𠄎。𠄎。𠄎。注曰。同。𠄎。象。灼。龜。拆。形。又。𠄎。𠄎。𠄎。𠄎。等。二。作。レ。リ。說。文。去。灼。龜。拆。也。ト。ア。リ。

此他ハ。𠄎。𠄎。等。モ。ト。𠄎。ヨ。リ。出。タ。ル。文。字。ニ。シ。テ。即。龜。書。ナ。ル。ベ。シ。如。此。漢。土。ニ。モ。ト。𠄎。ヨ。リ。出。タ。ル。文。字。ア。リ。テ。此。文。ハ。上。ニ。ト。食。之。兆。文。也。ト。ア。ル。ガ。如。ク。𠄎。文。ヨ。リ。出。タ。ル。文。字。ナ。ル。ト。疑。フ。ベ。キ。ニ。ア。ラ。ズ。

ト部家ノ說ニ龜トラスレバ其拆形文字ノ体ナリト云新井氏云吉田家ニハ龜兆ノ拆文ヲ文字トス字体ハ古木ノ枝ノ如シトアル是ナリ。

●第十一章齋部字

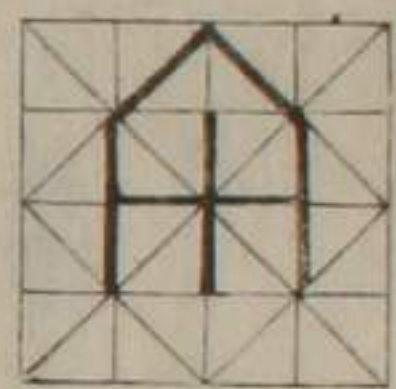
傳附録ニ右齋部橋兩家之極秘トアルニ由テ齋部字ト名ツク。

步	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
ス	エ	フ	キ	コ	ヒ
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
ア	ニ	タ	ル	ト	フ
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
セ	サ	ハ	ユ	モ	ミ
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
エ	リ	ク	キ	チ	ヨ
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
ホ	ヘ	メ	ツ	ロ	イ
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
レ	テ	カ	ワ	ラ	ム
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
ケ	ノ	ウ	ヌ	ネ	ナ
𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎	𠄎
マ	オ	ソ	シ	ヤ	ハ

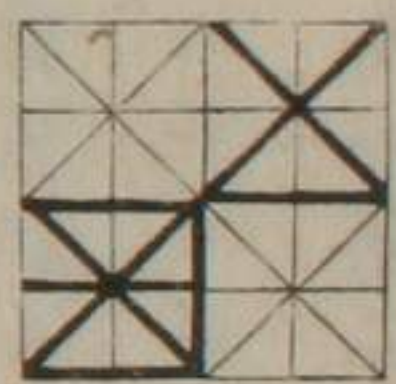
此文傳附録丁十一神代四十七言。神代象字傳。神躰勸請御正印論語訓天地男女ノ字等皆同字ナリ。今訂正ヲ加フ。傳附録第一文神代四十七言ハ見ノ下ニ且ヲ脱シ終字ニ𠄎ヲ増加セリ。故ニ𠄎ヲ略キ且ヲ補ヘバ第二文ト合ヘリ。

源齋部字

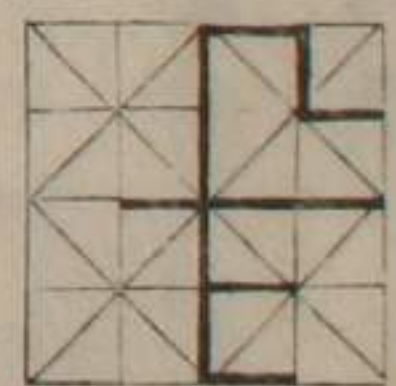
𠄎



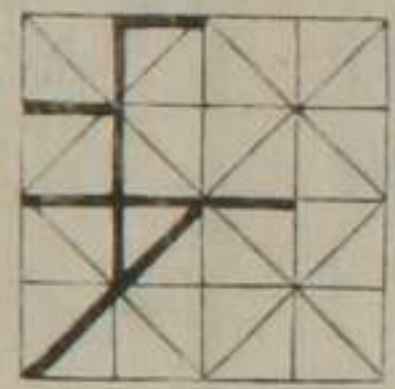
𠄎



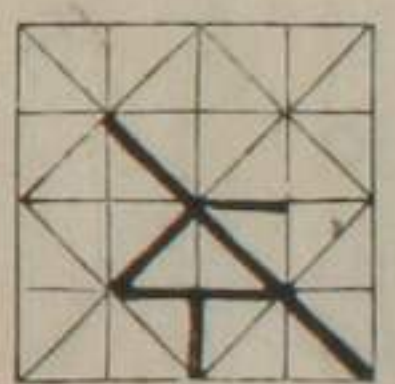
𠄎



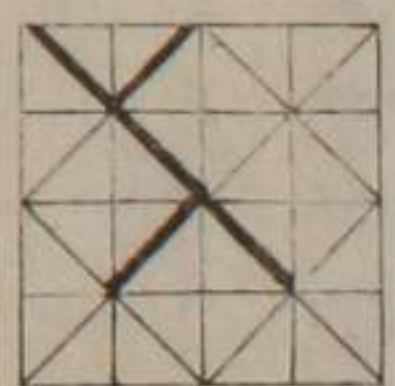
𠄎



𠄎



𠄎



○伊勢國山田神宮教會所藏鏡裏面之字、明治十二年頃某ノ奉納スル所

鏡背古字

𠄎
𠄎
𠄎
𠄎
𠄎

𠄎
𠄎
𠄎
𠄎
𠄎

ヤ
二米
二
𠄎
𠄎
𠄎
𠄎
𠄎
𠄎

カクノ如ク訓ムベキカ。コトモチロノ語ハ日文ノ詞ナリ。ヤ
ラヤハ俗ニヤレヤレナド古語ニテ歎賞ノ意カ。ツツモハツ
ツメヨノ意カ。字体聊カ異ナルモノ有レド此字体ニハ甚異
字多ケレバ少シヅ、体ヲ替ヘテ書ケルモノナルベシ。直亮
鏡ハサマデ古キモノトハ覺エザレドトニ
カク字体奇ナリ、古鏡ノ模造ナラムト去リ、

○日本古代文字考上卷

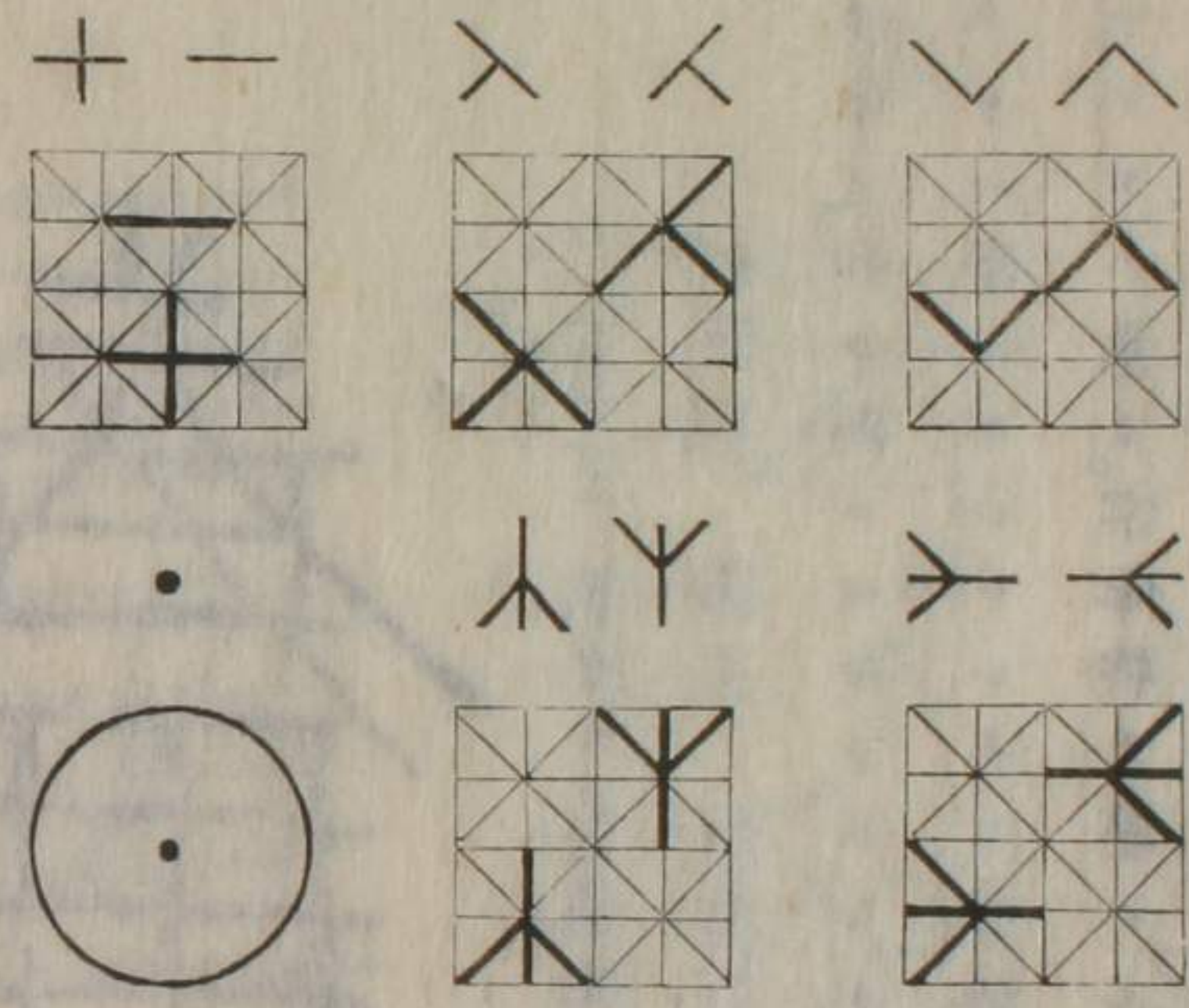
四十三

小槇舎藏

小槇舎藏

夷奴字
源及五十
音

● 第十二章夷奴字
字源及五十音
夷音ア、イ、
奴音又、



Y	O	△	彡	←	+	—	V	^	•	父母
ㄣ	ㄩ	ㄩ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ
ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ	ㄣ

此字五十字ヲ以テ組織セルモノ、如シ。五十字外ノ如ク見ユルハ大凡連合ナリ。

○ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ 四字連合

○ ㄣ ㄣ ㄣ 三字連合

○ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ 四字連合

連合字カクノ如シ。餘ハ之ニ準ヘ。此他草体ト見ユルモノアリ。

ㄣ ハ ㄣ ノ草体 ㄣ ハ ㄣ 連合字ノ草体

草体カクノ如シ。餘ハ之ニ準ヘ。

三代實錄元慶五年三日庚戌授陸奥蝦夷譯語外從八位下
 物部斯波連永野從五位下トアレバ陸奥及ビ蝦夷ハ言語
 通ゼザリシナリ。況ヤ漢字ノ不通ナルハ論ナシ。然レ氏戰
 争ヲ試ミ數々本邦ヲ犯スガ如キ智謀ナキモノニアラズ。
 今ノ土人ノ如ク至愚ナルモノニアラス。知謀アルモノト
 スレバ必文字ノ通用モアルベキ理ナリ。今遺存セル字ハ
 字母アリ字原アリ我古字ニ異ナラズ。唯惜ムラクハ讀法
 ヲ傳ヘズ。意ヲ解スルニ由ナシ。

此字体傳附録ニ載スル所ノ出雲書嶋石窟中ノ字ナリト
 云ニ類似セリ。全ク同字モアリ。然ルニ千家君去。書嶋ト云
 嶋ハ出雲ニハナシ。日御崎ノ近傍ニ經嶋ト云フ嶋アレヒ
 石窟中ニ文字アルヲ聞カズト。直澄云。書嶋字ノ數字ハ全

ク南部曆ノ數字ト同体ノモノナル上ニ全体夷奴字ト類
 似スルヲ以テ見レバ陸奥アタリニ傳ヘタルモノニハ非
 ルカ。猶能ク夷奴字書嶋字等ノ出所ヲ探ルベキナリ。出所
 判然セザレバ書嶋字ハ此所ニ載セズ。
 書嶋字ノ外ニ夷奴字ニ類似ノモノハ傳附録ニ神代十千
 トテ載セタル字全ク同字也。古代ニ十千十二支等ノ有ル
 ベクモアラホバ是モ後世ノ人十千ト思ヒテ附會セシモ
 ノナルベシ。

神代十千

↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑

北海道異体文字 東京人類學會 雜誌十八號 坪平正五郎氏記曰此文字ア
 ル古器物ハ粗キ織物ニテ製リタル帶太刀下ゲ六角柱ノ石

片小壺木節木皮日本紙獸皮等ナリ。筆ヲ以テ畫キ刀ヲ以テ刻ミ棒ニテ印セルモアリ。帶狀及ビ日本紙ニハ朱字ナリ獸皮石片ニハ金字ナリ。昨年九月六日ノ陸奥新聞ニ。榎本驛遞大臣。蝦夷千年以上ノモノト鑑定セラレシト云。

雜誌ニ
十號 莊司平吉氏云。此度ハ天然石ニ刻セル確實ナルモノヲ報ゼントス。此字石六個。甲一圖ヨリ三圖マデ樺太アイノアヒトル乙一圖ヨリ三圖マデ同地ノアイノテングスノ所藏ニ係ル。今莊司氏ノ所有ニ係ル。丙一圖ヨリ二圖ニ至ルハ元ト岩内ニ住ムアイノノ所有ニ係レリ。木皮ニ刻メルモノハ古平郡余別村アイノフクスケノ所藏。木節ニ刻メル七字ハ余市郡川村アイノトミシヌノ出ス所ナリ。板文字ト同家ニ傳レリ。六角石片、字ハ同地ノ土中ヨリ出ヅ。太古ハ純然タ

ル文通人種ノ居住セシナラム。現今ノアイノハ文字ヲ知ルモノナシ。質朴昏愚ニシテ古事ヲ辨ズルヲ能ハズ。古器物ヲ所有セル所以ヲ問ヘバ寶物ナリ代々譲リ受ケテ秘藏セリト云フノ外ナシ。附言乙一圖裏面ニ在ル横線歐文ニ要スル所ノモノ、如シ。然レモアイノ器物中ニシヨキネキ棒トテ鋒ニ釘アルモノノ戦具トス能ク似タリ。

甲三圖

寸法曲尺

厚三分五釐



厚二分

石質ハ雷斧ニ似テ青色ニ淡黒色ヲ帯ビ光澤アリ。裏面ハ無字ナリ。

長斜二寸二分
巾一寸五分
中心厚五分五釐



甲二圖 表面
長三寸一分五厘中一寸七分

石質ハ真黒
色ニシテ磨
キタルガ如
ク漆ヲ塗抹
セシ様ナル
光澤アリ



甲二圖 裏面
最厚六分

厚一分

甲一圖 表面
石質ハ雷
斧石ニ
同ジ顔
ルシテ
澤ア光
色リ碧
シニ
テ
處ニ
池ニ
ノ如キ
淡キ
露ル
斜厚一寸



甲一圖 表面
最厚一寸八分

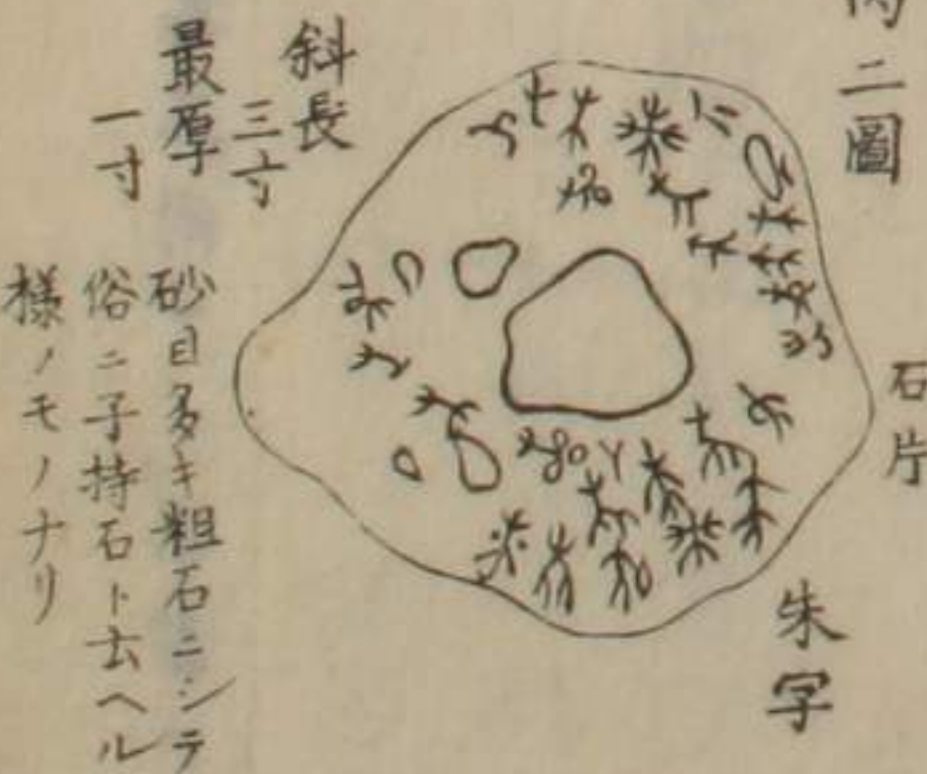
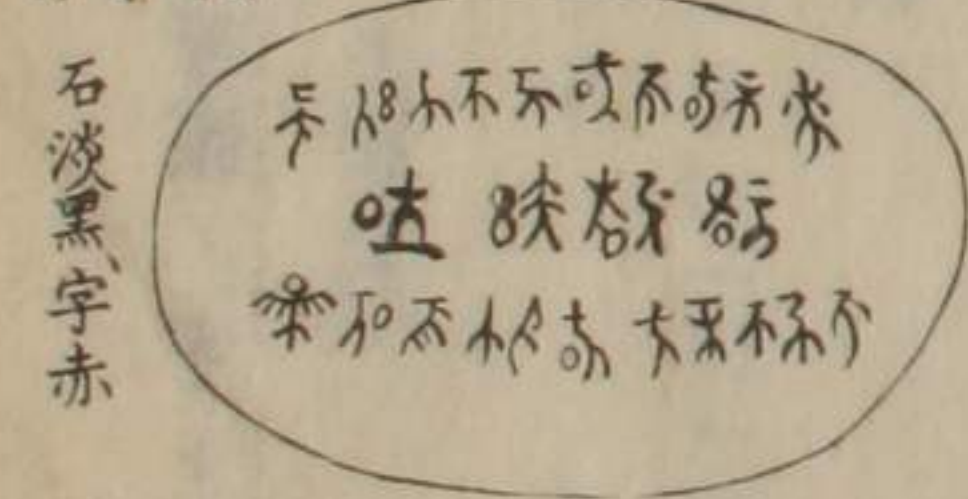
茶野ハカリ
ス假表面太字文ドレザハ能ル知ヤナ如何
定トヲキノ



乙二圖表
長三寸五分
幅二寸四分
線厚三分
中厚一寸
石薄黒字亦裏無字



乙三圖表
長三寸五分
幅二寸四分
厚八分



乙一圖表
長三寸
幅六分
幅中央
ニテ二
寸一分
石黒ク
字赤シ



乙一圖裏
最厚九分五厘



丙一圖表

長三寸九分、幅九分九厘
中心厚八分
四字金字



丙一圖裏
十一字朱字



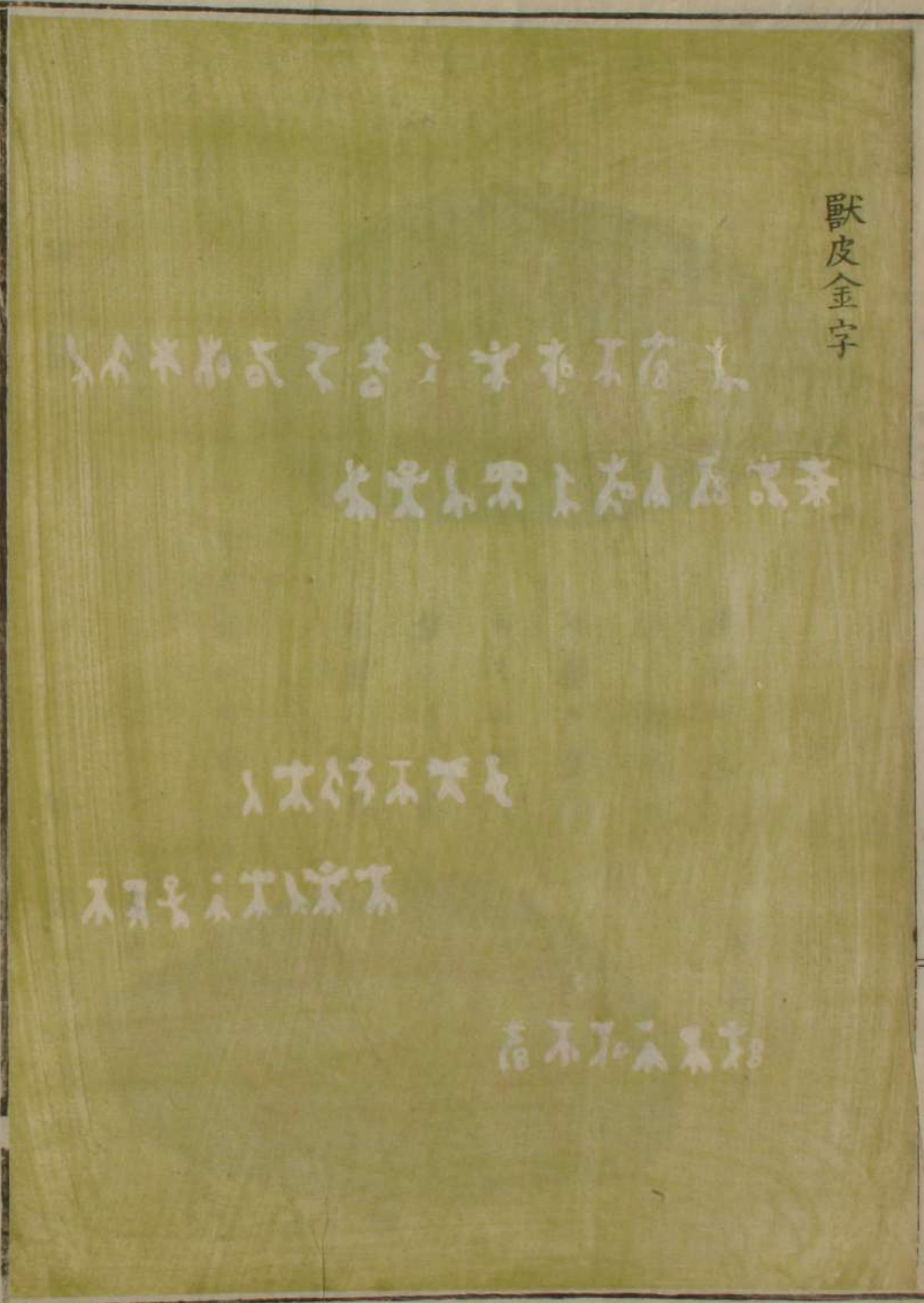
丙二圖ハ
丙一圖ヲ
載ス可キ
臺ナリ

丙二圖



石片
朱字
砂目多キ粗石ニシテ
俗ニ子持石ト云ヘル
様ノモノナリ

獸皮金字



小真舎載

力 * 欠
 欠 欠 欠 欠 欠
 欠 欠 欠 欠 欠

欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠

○ 欠 欠 欠 欠 欠 欠 欠

欠 欠 欠 欠 欠 欠 欠

欠 欠 欠 欠 欠 >
 欠 欠 欠 欠 欠

欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠

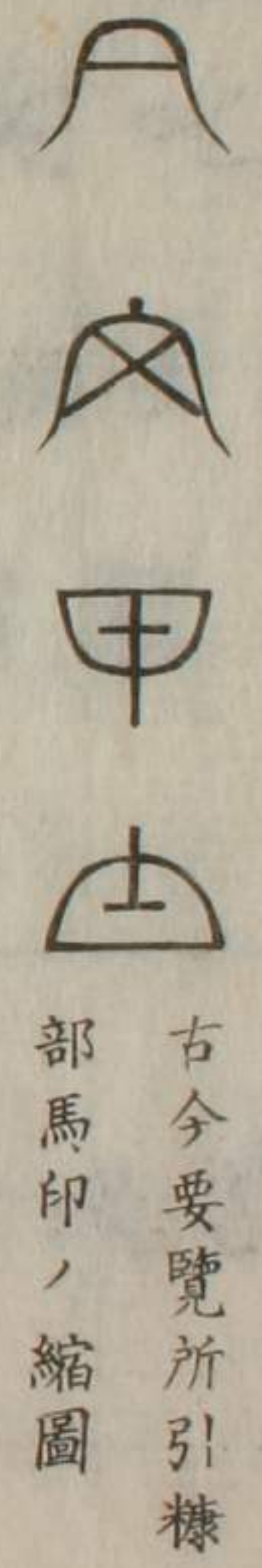
欠 欠 欠 欠 欠 欠 欠

欠 欠 欠 欠 欠 欠 欠

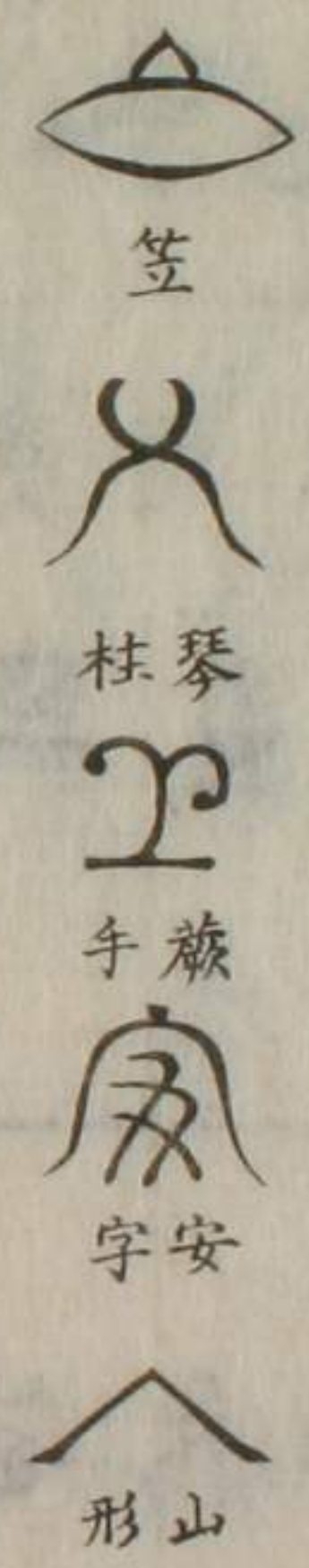
是ハ蝦夷太刀
 釣ニ朱以テ記
 セル字ナリ

小
 本
 金
 龍
 非

學藝志林三十二柳田幾作ノ牧考ニ所載ノ牧馬ノ燒印ノ章ニ糠部ノ印章ヲ載セ又舊幕府所用ノ小金佐倉蘆高等ノ印ヲ載セタリ。畫モアリ。漢字モアリ。其中ニ



古今要覽所引糠部馬印ノ縮圖

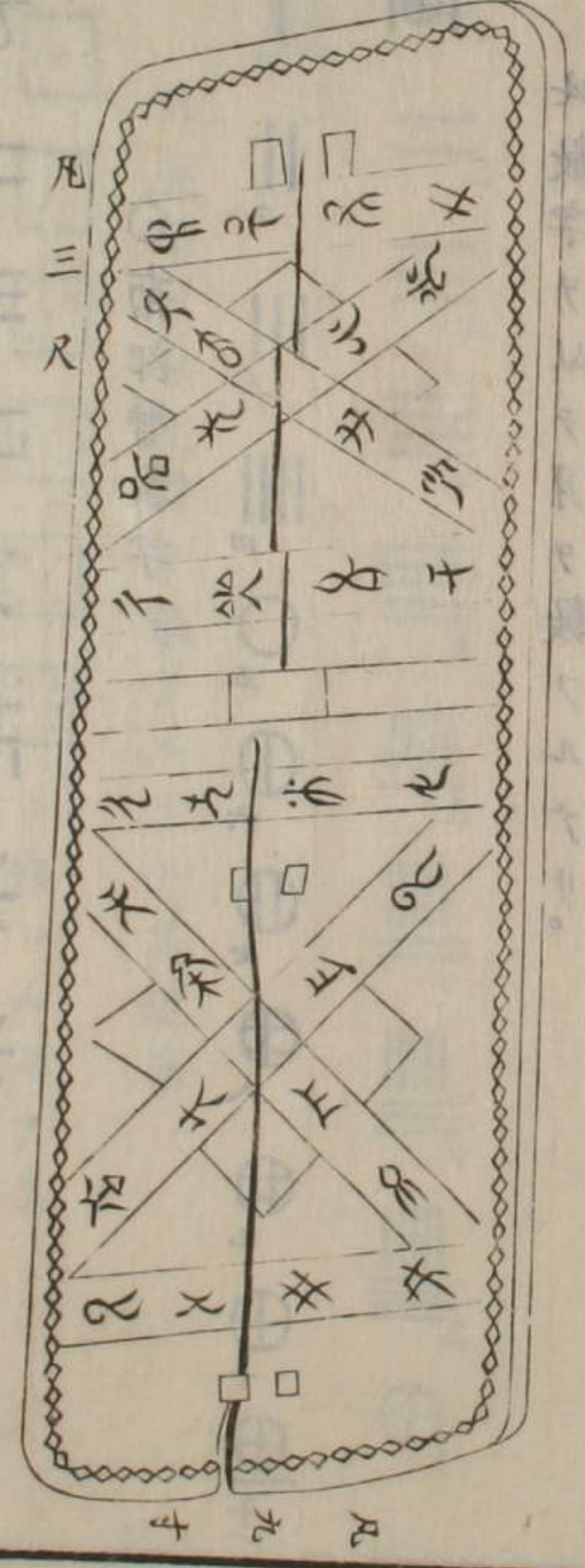


笠 琴 柱 安 字 山 形

舊幕府所用佐倉小金峯岡等ノ印

此等ハ我古字ナルモ量リガタシ。蝦夷字中ニ類似ノモノアリ。琴柱安字等ノ如キハ形ノ似タルヨリ名ケシモノカ。ハノ山形ノ如キハ商家ノ常ニ用ル徽章ナリ。ニモ作ル之ヲ見バ誰モ山形ト呼バベシ。山ノ象形字ト古モ可ナリ。

蝦夷楯圖



數量文字

○阿奈伊知數字

- 一 一
- 二 二
- 三 三
- 四 四
- 五 五
- 六 六
- 七 七
- 八 八
- 九 九
- 十 十
- 百 卅
- 千 卍
- 万 卍
- 億 卍

○日本古代文字考上卷附錄

○守恆數字

- 一
- 二
- ／ 三
- ＼ 四
- 一 五
- ／ 六
- × 七
- ／ 八
- ／ 九
- 一 十

○齋部數字

- ▽ 百
- △ 千
- 〉 万
- 乙 一
- 二 二
- 三 三
- 四 四
- 五 五
- 六 六
- 七 七
- 八 八
- 九 九
- 十 十

○南部曆數字

- 一 一
- 二 二
- 三 三
- 四 四
- 五 五
- 六 六
- 七 七
- 八 八
- 九 九
- 十 十
- 十一 十一

此數字ヲ以テ月ヲ數フルナリ。

- 一 一
- 二 二
- 三 三
- 四 四
- 五 五
- 六 六
- 七 七
- 八 八
- 九 九
- 十 十

此數字ヲ以テ日ヲ數フルナリ。又近來

- 一 一
- 二 二
- 三 三
- 四 四
- 五 五
- 六 六
- 七 七
- 八 八
- 九 九
- 十 十

○田券數字

成形圖說ニ去、田賦集ニ一段ヲ十二分ケテ此數字ヲ載スト、

○安寺持方數字

- 一 一
- 二 二
- 三 三
- 四 四
- 五 五
- 六 六
- 七 七
- 八 八
- 九 九
- 十 十

如此書ケバ金一分二朱ト一貫二百三十七文ナリ。

□ □ 十 二 三 〇 〇

小
松
翁
雜

